

## 3 款

# 民 生 費

- 1 項 社会福祉費
- 2 項 児童福祉費
- 3 項 生活保護費
- 4 項 医療福祉費
- 5 項 災害救助費



款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
3款 民生費	決算額 9,550,988,247円
1項 社会福祉費	決算額 3,971,972,484円
1目 社会福祉総務費	決算額 270,250,170円

#### 1 社会福祉総務事務費

福祉課・児童課・長寿介護課で使用している福祉総合システムについて、年間を通してシステム保守を行った。また、障害者自立支援法の制度改正（10月施行分、平成24年4月施行分）に伴い自立支援システム改修を行い、新制度への対応を図った。

##### (1) 島田市福祉総合システム

###### ア システム保守業務委託

委託先：株式会社アイネス中部支社

委託料：3,226千円

委託期間：平成23年4月1日 から 平成24年3月31日まで

###### イ システム機器賃貸借契約

契約先：芙蓉総合リース株式会社

賃貸借料：39,665千円（月額 661,080円）

賃貸借期間：平成22年9月1日 から 平成27年8月31日まで（60ヶ月）

###### ウ 障害者自立支援法制度改正に伴うシステム改修（平成23年10月施行分）

委託先：株式会社アイネス中部支社

委託料：3,150千円

委託期間：平成23年7月15日 から 平成23年9月30日まで

改修内容：グループホーム・ケアホーム利用の際の助成の創設、同行援護サービスの創設へのシステム対応

###### エ 障害者自立支援法制度改正に伴うシステム改修（平成24年4月施行分）

委託先：株式会社アイネス中部支社

委託料：8,820千円

委託期間：平成24年1月13日 から 平成24年3月31日まで

改修内容：利用者負担見直し、相談支援体制充実、障害児支援強化、報酬改定等へのシステム対応

#### 2 民生委員・児童委員活動事業

社会福祉に対するニーズが多様化・複雑化する中で、住民の立場に立ったきめ細かい相談や支援活動のほか、地域福祉サービス推進の担い手として幅広い活動を行い地域福祉の向上が図られた。

##### (1) 委員数（平成24年3月31日現在）

191人（うち主任児童委員 18人） ※定数193人

##### (2) 活動状況

区 分	平成23年度 (191名)	平成22年度 (189名)
活動延べ日数	30,422日	30,121日
委員一人当たりの活動延べ日数 (全国平均)	159.2日	159.3日 (129.7日)
訪問延べ回数	31,510回	29,624回
委員一人当たりの訪問延べ回数 (全国平均)	164.9回	156.7回 (153.5回)

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(3) 活動内容内訳 (単位：件)

活 動 内 容		平成23年度	平成22年度	
内容別相談支援件数（総数）		5,286	4,979	
委員一人当たりの相談・支援件数 （全国平均）		27.6	26.3 (32.3)	
内 訳	在宅福祉	700	755	
	介護保険	207	279	
	健康・保健医療	370	438	
	子育て・母子保健	232	240	
	子どもの地域生活	240	234	
	子どもの教育・学校生活	315	334	
	生活費	304	322	
	年金・保険	31	29	
	仕事	84	73	
	家族関係	353	301	
	住居	130	114	
	生活環境	276	210	
	日常的な支援	1,109	721	
	その他	935	929	
	分野別相談件数		5,286	4,979
	内 訳	高齢者に関すること	2,912	2,619
障害者に関すること		565	540	
子どもに関すること		864	973	
その他		945	847	

3 社会福祉活動支援事業

(1) 島田市社会福祉協議会補助金

社会福祉法人島田市社会福祉協議会に対し、運営事業費を補助した。

ア 補助金額 (単位：円)

年度	金 額
23	71,741,275
22	77,197,525

イ 平成23年度補助対象事業

区 分	主要事業の状況
職員設置費 (人件費)	職員 (12人分)・・・給与、法定福利費、退職金積立、諸手当 嘱託職員(4人分)・・・給与、法定福利費、諸手当
法人運営費 (事務費)	印刷製本費、水道光熱費、車両費、通信運搬費など
企画事業	社会福祉大会 (H24. 2. 19プラザおおるりホール、699人参加) 無縁仏供養祭 (H23. 10. 14島田市斎場、島田市仏教会が協力)
地域福祉事業	ふれあい広場 (H23. 10. 9市役所駐車場、29団体・約800人参加) 地域福祉活動推進事業 (①地域福祉活動推進委員会、委員8人、2回開催、②地区福祉懇談会、7地区、300人参加)
相談援助事業	福祉総合相談事業 (相談件数304件) 旅費欠者援護事業 (乗車券支給134人)
ボランティアセンター活動事業	ボランティア活動室管理 (利用件数247件、利用者数2,466人)

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明						
4	<b>災害時要援護者対策事業</b> 災害時要援護者の支援体制づくりを進めるための台帳を整備し更新作業を実施した。 (単位：円)						
	事業の概要	金額	備考				
	地図管理システム保守業務	84,000	委託料 (株)ゼンリン				
	災害時要援護者台帳複製使用料	58,149	使用料 (株)ゼンリン				
	災害時要援護者管理地図システム使用許諾料(地図更新ライセンス)	197,400					
5	<b>住宅手当緊急特別措置事業</b> 就労意欲がある離職者のうち、住居を喪失している又は住居を喪失するおそれがある者に対して、住宅手当を支給した。						
	区 分	平成23年度	平成22年度				
	支給決定者数	22人	56人				
	支給金額	3,982,575円	9,391,025円				
6	<b>地域福祉推進事業</b> 平成22年度に策定した島田市地域福祉計画に基づき地域福祉を推進するため、島田市社会福祉協議会と連携し、地区福祉懇談会及び地域福祉活動推進委員会を開催した。						
	開催(実施)日	内 容					
	平成23年6月8日～ 平成23年7月1日	地区福祉懇談会(中学校区単位、市内7箇所)					
	平成23年11月29日、 平成24年3月1日	地域福祉活動推進委員会(2回)					
7	<b>地域支え合いづくり推進事業(補助率 県10/10)【平成23年度新規事業】</b> 災害時の住民の安否確認を容易にできる体制づくりを行うため、「黄色い旗」を作成し、市内全世帯に配布した。 納品者：山久製作所 数量：37,000本 契約金額：6,670,240円 納品日：平成24年3月19日						
2目 障害福祉サービス費		決算額	1,066,092,724円				
1	<b>委員報酬</b> (1) 障害程度区分認定等審査会委員						
	年 度	審査会開催(回)	金額(円)				
	23	11	979,000				
	22	11	1,000,000				
2	<b>障害福祉事務費</b> (1) 身体障害者手帳交付状況 身体障害者手帳を交付することにより、各種の福祉サービスの支給等を可能とした。 交付者数 (単位：人)						
	年 度	視覚障害	聴覚障害	音声言語	肢体不自由	内部障害	計
	23	220	248	27	1,761	1,035	3,291
	22	225	257	28	1,760	1,020	3,290

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
(2) 療育手帳交付状況	療育手帳を交付することにより、各種の福祉サービスの支給等を可能とした。				
交付者数	(単位：人)				
年 度	障害程度		計		
	A	B			
23	266	402	668		
22	258	381	639		
(3) 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）交付状況	精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）受給者証を交付することにより、各種の援助措置の受け入れを可能とした。県の制度に基づき事務処理を行った。				
交付者数	(単位：人)				
年 度	精神障害者保健福祉手帳				自立支援医療 (精神通院)
	1級	2級	3級	計	
23	53	248	103	404	767
22	50	242	99	391	723
(4) 精神保健福祉講座	市民を対象に精神保健の啓発を図るための講座を開催した。				
年 度	回数(回)	延べ受講者数(人)			
23	4	15			
22	4	36			
(5) 施設整備事業費補助金【平成23年度新規事業】					
ア 知的障害者施設整備事業費補助金	(単位：円)				
法人名	事業の概要		事業費等		補助金額
社会福祉法人 天竜厚生会	「あかいし学園」 鉄骨2階建 延床面積 2,953㎡ 入所 50人 短期入所 10人 島田市 3人入所		総事業費 567,716,345 財源内訳 浜松市補助金 339,225,000 市町補助金 34,114,000 (11市町) 法人負担金 194,377,345		島田市分 2,289,000
社会福祉法人 明和会	「あきは寮」 延床面積 3,682㎡ 鉄骨2階建 80人定員 島田市 3人入所		総事業費 649,950,000 財源内訳 県費補助金 452,900,000 市町補助金 42,398,000 (10市町) 法人負担金 154,652,000		島田市分 2,529,000
イ 身体障害者施設整備事業費補助金	(単位：円)				
法人名	事業の概要		事業費等 (円)		補助金額
社会福祉法人 天竜厚生会	「厚生寮」 鉄骨2階建 延床面積 4,894㎡ 入所 100人 短期入所 5人 島田市 3人入所		総事業費 853,683,449 財源内訳 浜松市補助金 541,859,000円 市町補助金 46,785,320円 (11市町) その他補助金 11,550,000円 法人負担金 253,489,129円		島田市分 4,486,000

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
3 自立支援介護給付事業			
(1) 訪問介護給付費			
ア 居宅介護事業	在宅の障害のある者にホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助等を行った。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用時間	給付費(円)
23	112	11,809時間30分	37,459,264
22	104	10,488時間30分	31,941,995
イ 行動援護事業	知的又は精神障害により行動上著しい困難を有する者にヘルパーを派遣し、外出時における移動中の介護を行った。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用時間	給付費(円)
23	2	508時間00分	1,679,140
22	2	412時間00分	1,349,720
ウ 同行援護事業	視覚障害により外出が困難な者にヘルパーを派遣し、外出時における移動の支援を行った。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用時間	給付費(円)
23	8	231時間30分	386,922
※障害者自立支援法の改正（平成23年10月1日施行）により創設			
エ 短期入所事業	障害のある者を介護している家族が病気等の理由により居宅における介護ができない場合に、短期間の施設入所により、介護を実施した。		
年 度	実利用人数(人)	実利用日数(日)	給付費(円)
23	71	1,152	8,989,621
22	61	822	6,513,007
(2) 日中活動介護給付費			
ア 生活介護事業	施設等において、日常生活上の支援、創作的活動、生産活動の機会の提供などの支援を行った。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	給付費(円)
23	138	33,658	335,468,974
22	109	25,826	254,661,933
イ 児童デイサービス事業	通所により日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練などのサービスを実施した。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	給付費(円)
23	107	6,918	31,688,459
22	96	6,130	27,239,145
(3) 居住介護給付費			
ア 共同生活介護事業（ケアホーム）	地域において自立した生活を営もうとする障害のある人に、居住の場を提供し必要な介護、支援を行った。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
23	37	11,478	51,849,000
22	23	9,295	38,208,616

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
イ 施設入所支援事業	生活介護等の日中活動の対象者に対し、夜間の支援を実施した。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
23	79	27,005	100,280,587
22	75	24,430	92,194,582
4 自立支援訓練等給付事業	(1) 日中活動訓練等給付費		
ア 自立訓練事業	自立した社会生活ができるよう、身体機能又は生活能力の向上のための訓練を実施した。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	給付費(円)
23	機能訓練 2	230	1,639,450
	生活訓練 6	150	1,071,546
22	機能訓練 2	149	952,076
	生活訓練 9	832	5,749,220
イ 就労移行支援事業	就労が見込まれる障害のある人に対し、必要な訓練、指導等を実施した。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
23	36	3,833	31,315,093
22	33	6,105	37,015,766
ウ 就労継続支援事業	障害のある人に就労の機会を提供するとともに、必要な指導等を実施した。		
年 度	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
23	A型 28	5,066	30,204,123
	B型 159	33,744	202,103,254
22	A型 31	4,913	30,022,717
	B型 128	25,702	152,888,763
(2) 居住訓練等給付費	ア 共同生活援助事業 (グループホーム)		
地域において自立した生活を営もうとする障害のある人に、居住の場を提供し、必要な支援等を行った。			
年 度	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
23	23	6,419	15,730,057
22	9	3,709	9,071,785
5 自立支援補装具給付費	(1) 補装具給付費		
障害のある人の更生のため、補装具の給付を行った。			
年 度	件 数(件)	金 額(円)	
23	113	13,136,565	
22	129	10,927,817	
6 自立支援医療費	(1) 更生医療支給費		
身体に障害のある人の更生に必要な医療の給付を行った。			

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

年 度	件 数(件)	金 額(円)
23	312	17,943,239
22	319	14,779,204

## 7 自立支援地域生活支援事業

### (1) 相談支援事業

障害のある人、その家族等からの相談に応じ、情報提供や権利擁護のために必要な援助を行い、支援体制を充実させていく事業であり、NPO法人、社会福祉法人に委託し、実施した。

年 度	件 数(件)	契約額(円)	委 託 先
23	3,187	12,000,000	NPO法人こころ、(社福)牧ノ原やまばと学園
22	1,922	7,388,000	NPO法人こころ

### (2) コミュニケーション支援事業

#### ア 手話通訳者派遣事業

聴覚に障害のある人に手話通訳者を派遣した。

年 度	登録者数(人)	派遣申込件数(件)	延べ派遣人数(人)	報 酬(円)
23	9	133	167	642,201
22	10	146	170	621,703

#### イ 要約筆記奉仕員派遣事業

中途失聴者・難聴者に要約筆記奉仕員を派遣した。

年 度	登録者数(人)	派遣申込件数(件)	延べ派遣人数(人)	報 酬(円)
23	10	5	18	75,685
22	10	4	11	45,222

#### ウ 音声コード研修会開催事業【平成23年度新規事業】

行政情報のユニバーサルデザイン化の一環として、行政文書の音声コード化を進めるため、市職員を対象とした研修会を開催した。

開催日 平成24年1月10日 午後  
平成24年1月11日 午前・午後 計3回

参加者 職員141人

請負者 NPO法人 日本視覚障がい情報普及支援協会

契約額 299,250円

### (3) 日常生活用具給付事業

障害のある人の更生のため、日常生活用具の給付を行った。

年 度	件数(件)	金 額(円)
23	2,266	21,878,839
22	2,285	21,225,884

### (4) 移動介護事業

在宅の障害のある人にホームヘルパーを派遣し、外出支援を行った。

年 度	実利用人数(人)	延べ利用時間	給付費(円)
23	165	11,064時間30分	21,719,646
22	156	10,064時間30分	20,350,177

### (5) 地域活動支援センター事業

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

障害のある人の地域生活を支援するため、利用者に対して創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流促進事業などを実施した。

年 度	延べ人数(人)	契約額(円)	委 託 先
23	9,658	9,688,000	NPO法人こころ
22	7,363	9,421,000	NPO法人こころ
	2,424	8,151,000	NPO法人うたしあ
	2,950	8,151,000	社会福祉法人牧ノ原やまばと学園(ワークセンターふれあい)

(6) 訪問入浴サービス事業

訪問による入浴介助が必要な在宅の重度の障害のある人をホームヘルパーが訪問する訪問入浴を実施した。

年 度	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	金額(円)
23	7	444	5,581,250
22	7	493	6,162,500

(7) 日中一時支援事業

障害のある人(児)を介護している家族が病気等の理由により居宅における介護ができない場合に、一時的に施設において介護を実施した。

年 度	延べ利用人数(人)	実利用日数(日)	給付費(円)
23	51	259.25	2,023,299
22	51	324.75	2,029,251

(8) 社会参加促進事業

ア 重度障害者等移動支援事業

既存の交通機関を利用することが困難な要援護者(車椅子利用者等)の社会参加を促進するため、島田市社会福祉協議会へ委託し、交通手段のひとつとしてリフト付きワゴン車を貸し出した。

年 度	運行回数(回)	契約額(円)
23	339	495,652
22	392	566,709

イ 手話通訳者養成等事業

手話教室は、厚生労働省の定めたカリキュラムを実施し、手話奉仕員を養成することを目的とし、開催した。

年 度	開催回数(回)	受講者数(人)	請 負 者	契約額(円)
23	27	11	ロバの会	600,000
22	23	21	ロバの会	600,000

点字講習会は、市民に点字を身近に感じてもらうことを目的とし、開催した。

年 度	開催回数(回)	受講者数(人)	請 負 者	契約額(円)
23	4	4	点字の会	80,000
22	4	7	点字の会	80,000

初級要約筆記講座は、市民に要約筆記を身近に感じてもらうことを目的とし、開催した。

年 度	開催回数(回)	受講者数(人)	請 負 者	契約額(円)
23	1	13	うさぎ	53,000
22	1	12	うさぎ	53,000

ウ 自動車改造費助成事業

身体に障害のある人の就業その他社会参加を促進し、自立を支援するため、障害のある人自らが運転するた

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
	めの自動車の改造に要した経費を助成した。	
	年 度	助成額(円)
	23	202,480
	22	518,500
エ	自動車運転免許取得費助成事業 身体に障害のある人の就業その他社会参加を促進し、自立を支援するため、自動車の運転免許の取得に要した経費を助成した。	
	年 度	助成額(円)
	23	100,000
	22	0
8	施設訓練等支援費	
(1)	施設訓練等支援費（経過措置）	
ア	施設入所 身体に障害のある人や知的障害のある人が施設へ入所することにより、更生に必要な訓練、治療、養護及び雇用に必要な訓練を行った。	
	年 度	給付額(円)
	23	10,053,086
	22	29,866,343
イ	施設通所 身体に障害のある人や知的障害のある人が施設へ通所することにより、更生に必要な訓練及び雇用に必要な訓練を行った。	
	年 度	給付額(円)
	23	3,355,500
	22	41,233,010
9	特別障害者手当等支給事業	
(1)	特別障害者手当等支給事業 経済的な援助のため、著しく重度の障害があり常時介護が必要とされる人（児）に対して、手当を支給した。	
	特別障害者手当給付状況	
	年 度	給付額(円)
	23	30,863,840
	22	32,626,960
	障害児福祉手当給付状況	
	年 度	給付額(円)
	23	10,782,610
	22	11,374,580
	福祉手当（経過措置）給付状況	
	年 度	給付額(円)
	23	344,120
	22	345,120

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
10 人にやさしいまちづくり推進事業【平成23年度新規事業】	事業名 島田市福祉マップ整備事業 仕様 A4版カラー印刷、32頁、6,500部、音声コード付 請負者 有限会社デザインオフィスエム・エス・シー 契約金額 607,950円 契約日 平成24年2月29日 契約期間 平成24年3月1日～3月30日				
11 移動支援事業	(1) ガイドヘルパー派遣事業 視覚に障害のある人にガイドヘルパーを派遣した。				
	年 度	登録者数(人)	派遣申込件数(件)	延べ派遣人数(人)	報 酬(円)
	23	24	66	66	223,300
	22	24	109	116	412,500
	(2) 重度心身障害者(児)タクシー料金助成事業 重度の障害のある人がタクシーを利用した場合、その料金の一部を助成した。				
	年 度	利用件数(件)	交付冊数(冊)	利用実人数(人)	金額(円)
	23	19,852	960	754	12,790,270
	22	20,126	968	764	12,441,060
	(3) 福祉有償運送運営協議会 平成23年度は、福祉有償運送の登録申請(変更・更新)がなかったため未開催。 ア 委員数 15人 イ 開催状況				
	年 度	開催(回)	開催時期	報償費(円)	
	23	—	—	—	
	22	1	平成23年3月15日	52,000	
12 入浴サービス事業	入浴介助が必要な在宅の重度の障害のある人のための施設入浴を実施した。				
	年 度	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	金額(円)	
	23	3	110	1,870,000	
	22	3	122	2,065,500	
13 福祉団体育成事業	(1) 手をつなぐ育成会補助金 保護育成及び更生援護活動に要した事業費に対し補助を行った。				
	年 度	金 額(円)	事業内容		
	23	210,000	・研修会、福祉活動の支援事業		
	22	210,000	・そよかぜ青年学級活動の支援事業 等		
	(2) 精神保健福祉島田親愛会補助金 島田親愛会が行う活動事業に対し補助を行った。				
	年 度	金 額(円)	事業内容		
	23	135,000	・家族相談日の実施		
	22	135,000	・障害者と地域との交流促進事業 ・作業所、共同住居、地域活動支援センター運営事業		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
(3) 島田市身体障害者福祉会補助金	島田市身体障害者福祉会が行う活動事業に対し補助を行った。					
	年 度	金 額(円)	事業内容			
	23	500,000	・相談員研修、会員交流イベント			
	22	580,000	・島田市障害者スポーツ大会開催			
14 障害者配食サービス事業	調理が困難な身体障害者に対して栄養のあるバランスのとれた食事を定期的に提供し、食生活の改善を図るとともに、訪問時の安否確認を行った。					
	年 度	実人数(人)	配食数(食)	金額(円)		
	23	11	1,243	211,310		
	22	8	1,241	210,970		
15 自立支援対策特例事業	(1) 通所サービス利用促進事業費補助金(補助率 県3/4)					
	通所サービス利用促進事業(施設通所利用者の送迎)を行う施設に対し、補助を行った。					
	年 度	施 設 名	利用者延べ人数(人)	補助額(円)		
	23	ケアセンター野ばら	3,255	2,000,000		
		ケアセンターかたくりの花	3,741	3,000,000		
		ケアセンターこころ	1,083	475,000		
		計		5,475,000		
	22	ケアセンター野ばら	3,184	2,300,000		
		ケアセンターかたくりの花	3,499	3,000,000		
		ケアセンターこころ	408	486,000		
		計	7,091	5,400,000		
	(2) 通所サービス利用促進事業費負担金	他市町が補助を行う通所サービス利用促進事業を島田市内の利用者が利用した場合、補助に要する経費を案分して負担した。				
	年 度	補助を行う市町	施 設 名	市町負担額(円)	案分率	島田市負担額(円)
	23	焼津市	空と大地と	424,751	0.3573	151,000
		牧之原市	ケアセンターさざんか	750,000	0.1223	91,000
		吉田町	ワークセンターさくら	750,000	0.0831	62,000
		計				304,000
	22	焼津市	空と大地と	373,218	0.2852	106,000
		牧之原市	ケアセンターさざんか	750,000	0.1484	111,000
		吉田町	ワークセンターさくら	375,000	0.0926	34,000
		計				251,000
	(3) 新事業移行促進事業補助金(補助率 県3/4)	障害者自立支援対策臨時特例交付金に伴う事業で、新体系に移行した事業所の当月の利用者数に応じ以下の単価で補助を行った。				
	年 度	定員区分	事業所数	単価(円)	実利用者数(人)	補助額(円)
	23	生活介護等	6	5,400	29	156,600
		施設入所支援	5	4,500	7	31,500
		計	11		36	188,100
	22	生活介護等	3	5,700	10	57,000
		施設入所支援	3	4,750	10	47,500

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
-------	---------------	--	--	--	--

	計	6		20	104,500
--	---	---	--	----	---------

(4) 事務処理安定化支援事業補助金 (補助率 県3/4)

障害福祉サービス事業所であって、平成 23 年 7 月時点で、以下の基準に当てはまる事務職員を配置している事業所を対象として補助を行った。

- ア 定員60人以下 事務職員 2人以上配置
- イ 定員61人以上80人以下 事務職員 3人以上配置
- ウ 定員81人以上 事務職員 4人以上配置

年 度	定員区分	事業所数	単価(円)	実利用者数(人)	補助額(円)
23	60人以下	1	15,000	14	210,000
	61人以上80人以下	0	-	0	0
	81人以上	0	-	0	0
	合計	1	-	14	210,000
22	※実績なし	-	-	-	-

(5) 事業運営円滑化事業 (補助率 県3/4)

事業所収入の激減(減少)を緩和するために、対象事業所に補助(従前額の9割保障)を行い、事業所の安定的運営の確保を図った。

年 度	事業所数	補助額(円)
23	3	1,125,460
22	3	1,080,000

(6) 移行時運営安定化事業 (補助率 県10/10)

旧体系の事業所が新体系へ移行した場合にあつて、事業所収入の激減(減少)を緩和するために、対象事業所に補助(従前額の10割保障)を行い、事業所の安定的運営の確保を図った。

年 度	事業所数	補助額(円)
23	1	474,450
22	1	516,000

16 地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業 (繰越明許)

(1) コミュニケーション支援事業 (補助率 国10/10)

活字文書読上げ装置、点字プリンター、拡大読書器を購入し、庁内各所に設置して視覚障害者支援のための環境整備を行った。

(単位:円)

事業名	事業概要	事業費	設置場所
活字文書読上げ装置購入事業	活字文書読上げ装置(充電器セット)11台 音声コード作成ソフト2セット	備品購入費 1,341,125	福祉課、市民課、税務課、児童課、総務課、秘書広報課、企画課、長寿介護課、支所(金谷北、金谷南、川根)
点字プリンター購入事業	点字プリンター2台	備品購入費 2,173,500	保健福祉センター(ボランティア活動室)、金谷ボランティアセンター(相談室)
拡大読書器購入	据置型 3台 携帯型 8台	備品購入費 1,780,828	福祉課、市民課、長寿介護課、支所(金谷北、金谷南、川根)、図書館(島田、金谷、川根)

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
3目 老人福祉費	決算額 277,353,562円

1 老人福祉総務事務費

(1) 地域高齢者見守りネットワーク事業【平成23年度新規事業】

地域における高齢者の見守りと日常的な支え合い活動のネットワーク化により、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるような体制づくりを構築するとともに市民への周知、啓発を行った。また、緊急時対応の円滑化を図るため、対象となる高齢者へ民生委員の協力のもとエンディングノートを作成し、配布した。

(単位：円)

協力団体・事業所等	事業内容	事業費
協力団体（4団体） 協力事業所（10事業所） 医療機関 介護事業所 在宅福祉サービス事業所 関係行政機関	① シンボルマークのピンバッジ、パンフレット、掲示用マグネットシート等作成 ② エンディングノートの作成・配布 ③ 連絡会の開催	2,106,905  (内訳) 報償費 100,000 需用費 1,942,605 役務費 64,300

2 高齢者生きがい活動支援事業

(1) 老人福祉センター事業

高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の場所を提供するため、施設の管理運営を行った。

利用人数(人)	利用団体(団体)	事業費(円)
5,340	110	7,308,160

(2) 敬老事業

長寿を祝福するため、88歳及び99歳以上の市民に対して島田市金券を贈呈した。

区 分	人数(人)	祝 品(円)
88歳	478	島田市金券 10,000
99歳	37	島田市金券 20,000
100歳	20	島田市金券 30,000
101歳	15	
102歳	10	
103歳	5	
104歳	5	
105歳	1	島田市金券 50,000
105歳	1	
106歳	1	
110歳	1	
計	574	7,350,000
商店への換金取次ぎ 事務業務委託料等		246,165
合 計		7,596,165

(3) 敬老会実施地区助成事業

長寿を祝福するために敬老会を実施する町内会等に対し、その開催年度において75歳以上の者及び75歳となる予定の者1人につき、900円を限度として、費用の一部を助成した。

実施地区数	対象人数(人)	助成額(円)
104	13,041	11,736,900

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(4) 老人クラブ補助金

老人クラブに対し事業（教養活動事業、健康活動事業、地域活動事業）に要する経費を助成することにより、高齢者福祉の増進を図った。

区 分	クラブ数	会員数(人)	補助金(円)
単位老人クラブ助成金 (25人以上)	64	3,438	3,700,600
単位老人クラブ助成金 (24人以下)	7	127	238,000
小 計	71	3,565	3,938,600
老人クラブ連合会			2,077,800
合 計			6,016,400

(5) 生きがい活動支援通所事業

通所による日常動作訓練や生きがい活動等のサービスを提供することにより、自立生活の助長、社会的孤立感の解消を図り要介護状態になることを予防した。

施設名	実利用 人数 (人)	延べ利 用者数 (人)	1日平均 利用者数 (人)	委 託 料 (円)	委 託 先
はつくら	63	2,007	8.3	9,711,000	(福) 島田市社会福祉協議会
伊久身	29	983	7.0	5,364,000	
ふれあい	66	2,186	11.3	8,590,000	
さくら	59	1,800	9.5	8,070,820	
いなり	28	791	5.5	6,757,157	
おおい	61	1,621	6.8	11,700,000	ワーカーズユープ夢ユープ
合 計	306	9,388		50,192,977	

3 在宅福祉サービス事業

(1) ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業

在宅ひとり暮らしの高齢者世帯等に緊急通報装置・火災感知器・ガス漏れ警報器の3点を設置し、24時間体制で緊急通報を受け付けることにより、在宅生活の継続を図った。

委託先	年間実利用世帯数 ( ) は3/31現在	緊急通報回数(回)	委託料 (円)
日本連合警備㈱	538 (475)	548 (うち誤報516)	14,902,125
㈱TOKAI	3 ( 3)	0	82,800
合 計	541 (478)	548 (うち誤報516)	14,984,925

(2) 外国人高齢者福祉手当支給事業

国民年金制度上、年齢的に無年金者となる外国人高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、月額11,000円を年3回に分けて支給した。

対象者(人)	支給額(円)
1	132,000

(3) 軽度生活援助事業

在宅のひとり暮らし高齢者等が自立した生活を続けられるように軽易な日常生活上の援助を行うことにより要介護状態になることを予防した。

委 託 先	利用者数 (人)	派遣回数 (回)	利用時間 (時間)	委託料(円)
(社) 島田市シルバー 人材センター	58	1,870	3,576	3,061,056

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
(4) 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業	在宅ひとり暮らし高齢者等に寝具類の衛生管理のための水洗いや乾燥消毒等のサービスを行った。			
	委 託 先	利用者数(人)	利用回数 (回)	委託料(円)
	静岡県志太綿業組合	11	17	95,810
	静岡県わた寝具商工組合			
	金谷ふとん商組合	0	0	0
	川根町公共用品衣料	0	0	0
	合 計	11	17	95,810
(5) 訪問理美容サービス事業	心身の障害及び傷病等の理由により理髪店や美容院に出向くことが困難な在宅高齢者に対して、居宅で手軽に散髪を受けられるようにするため、訪問理美容サービスを行った。			
	委 託 先	利用者数 (人)	利用回数(回)	委託料(円)
	静岡県理容生活衛生同業組合 島田支部島田地区	4	5	7,500
	静岡県理容生活衛生同業組合 島田支部金谷地区	1	1	1,500
	静岡県理容生活衛生同業組合 島田支部川根地区	0	0	0
	合 計	5	6	9,000
(6) 移動支援サービス事業	公共交通機関の少ない川根地区において、外出困難な高齢者等の日常生活の利便性を高め、生きがい増進や閉じこもり防止を目的とし、在宅での自立した生活を支援するとともにその家族の負担の軽減を図るため事業を実施した。			
	委 託 先	利用者数 (人)	利用回数 (回)	委託料 (円)
	(社) 島田市シルバー 人材センター	63	822	914,075
4 老人保護措置事業				
(1) 養護老人ホームぎんもくせい管理運営事業	社会福祉法人「大井川厚生会」を指定管理者として、養護老人ホーム「ぎんもくせい」の管理運営を実施した。居宅において養護を受けることが困難な人を措置し、高齢者の福祉を推進した。			
	委 託 先	管理運営委託料(円)	備 考	
	(福)大井川厚生会	115,652,804	ぎんもくせい措置者	
		(内訳)	島田市 48人	
		島田市分 113,051,114	他市町 1人	
		他市分 2,601,690	(H24. 3. 31現在)	
(2) 老人保護措置費	環境上、経済上等の理由により、居宅において養護を受けることが困難な人を養護老人ホーム及び特別養護老人ホームに措置し、高齢者の福祉を推進した。			
	施 設 名	措置実人数 (人)	措置延べ月 (月・日)	措置費 (円)
	第二静光園 (浜松市)	1	12月	3,519,711

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

光 の 園 (長野県)	1	12月	3,720,022
相 寿 園 (牧之原市)	2	24月	4,594,899
福 寿 園 (愛知県)	1	12月	2,799,379
小 計	5	60月	14,634,011
本 田 山 荘 (島田市)	1	137日	306,201
合 計	6		14,940,212

### (3) 入所判定委員会

養護老人ホームへの適切な入所措置を実施するため、「老人ホームの入所について」（昭和59年厚生省社会局長通知）に基づき、入所判定委員会を開催した。

判定委員：内科医師、精神科医師、保健所長、社会福祉士、市民福祉部長及び養護老人ホーム施設長の6人  
開催状況

開 催 日	判定件数(件)
平成23年6月13日	4
平成23年9月16日	1
平成23年11月18日	1
平成23年12月12日	2
平成24年1月19日	2
合 計	10

## 5 介護サービス利用支援事業

### (1) 介護保険利用者負担対策事業

低所得者のうちで要件を満たした高齢者等について、社会的な役割のある社会福祉法人等による負担を基本として、利用者負担の軽減を図った。 ※40～64歳（第2号被保険者）の場合もあり

対象者数(人)	補助額(円)
48	1,465,031

※要件：①市民税非課税世帯 ②年間収入150万円以下 ③預貯金等の額が350万円以下 ④資産なし  
⑤扶養なし ⑥介護保険料滞納なし

## 6 老人福祉施設整備事業

### (1) 特別養護老人ホーム借入金償還金補助金

高齢者の福祉の増進を図るため、老人福祉施設を運営する社会福祉法人に対し、独立行政法人福祉医療機構借入金の償還に要する経費の一部を補助した。

法人名(施設名)	金 額(円)	償還期間
(福)大井川厚生会 (永福荘)	420,000	H元～H30(30年間)
(福)初倉厚生会 (みどりの園)	6,343,500	H12～H28(17年間)
(福)島田福祉の杜 (あすか)	7,190,000	H16～H35(20年間)
(福)五和会 (本田山荘)	4,418,306	H 8～H27(20年間)
合 計	18,371,806	

## 7 老人福祉施設管理運営事業

### (1) 川根老人憩いの家管理運営経費

高齢者の教養の向上、レクリエーション等の場所を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図るため施設の管理運営を行った。

#### ア 利用状況

利用回数 (回)	延べ利用者数 (人)
215	2,704

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																		
(2) 介護予防拠点施設（ふれあい健康プラザ）管理運営経費	<p>高齢化が進む中、機能訓練や趣味・軽作業など気軽に行える場の提供と生きがい活動支援通所事業や通所型介護予防事業「げんき教室」を実施するなど、介護予防や認知症予防等の健康増進の向上を図った。管理運営については（福）島田市社会福祉協議会と指定管理者制度による協定を締結した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開館日数(日)</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>管理運営委託料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>335</td> <td>6,934</td> <td>5,703,000</td> </tr> </tbody> </table>				開館日数(日)	延べ利用者数(人)	管理運営委託料(円)	335	6,934	5,703,000									
開館日数(日)	延べ利用者数(人)	管理運営委託料(円)																	
335	6,934	5,703,000																	
(3) 温泉運搬経費	<p>川根地区の老人福祉施設に川根温泉の源泉を運搬し、高齢者の健康増進を図るため温泉運搬事業を実施した。 委託先 （社）島田市シルバー人材センター</p> <p>運搬先 ・介護予防拠点施設 毎月、第2・第4日曜日以外 1日3t ・川根デイサービスセンター 毎週、月～金曜日 1日2t ・とこはデイサービスセンター 毎週、月～金曜日 1日5t</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支出区分</th> <th>内 訳</th> <th>金 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>1,040 (時間)</td> <td>1,112,800</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>2,267.50 (円)</td> <td>300,150</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>1,412,950</td> </tr> <tr> <td>平成23年度利用者数(人)</td> <td></td> <td>延べ 15,428人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用者数の内訳：介護予防拠点施設（4,502人）、川根デイサービスセンター（6,395人）、とこはデイサービスセンター（4,531人）。</p>				支出区分	内 訳	金 額(円)	人件費	1,040 (時間)	1,112,800	燃料費	2,267.50 (円)	300,150	計	—	1,412,950	平成23年度利用者数(人)		延べ 15,428人
支出区分	内 訳	金 額(円)																	
人件費	1,040 (時間)	1,112,800																	
燃料費	2,267.50 (円)	300,150																	
計	—	1,412,950																	
平成23年度利用者数(人)		延べ 15,428人																	
7 緊急雇用創出事業																			
(1) 地域相談体制推進事業	<p>島田市地域包括支援センターに相談支援及び地域連携の補助要員を雇用して、介護予防事業の二次予防事業対象者の訪問や介護予防サービス計画作成を行った。 雇用期間：平成23年7月から平成24年3月まで 雇用人数：1人</p>																		
4目 地区改善費	決算額	1,067,344円																	
1 小集落改良住宅維持管理事業	<p>1棟で6月に退去、1月から再入居があった。屋根雨漏修繕や床板の補修等を行い、住居環境維持を図った。 入居率：97.5%（20世帯）</p>																		
2 福祉地区住宅資金管理状況																			
(1) 年度末残高																			
住宅改修																			
年 度	貸 付 状 況		償還期限	滞 納 状 況															
	人数(人)	金額(円)	到来額	人数(人)	金額(円)														
23	183	199,040,000	199,040,000	7	10,280,738														
22	183	199,040,000	198,707,742	7	10,047,808														
宅地取得																			
年 度	貸 付 状 況		償還期限	滞 納 状 況															
	人数(人)	金額(円)	到来額	人数(人)	金額(円)														
23	142	264,100,000	264,100,000	8	4,021,946														
22	142	264,100,000	263,920,000	8	3,913,624														

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

住宅新築

年度	貸付状況		償還期限 到来額	滞納状況	
	人数(人)	金額(円)		人数(人)	金額(円)
23	124	550,800,000	550,800,000	9	10,636,171
22	124	550,800,000	550,800,000	10	10,883,270

合計

年 度	貸付状況		償還期限 到来額	滞納状況	
	人数(人)	金額(円)		人数(人)	金額(円)
23	449	1,013,940,000	1,013,940,000	24	24,938,855
22	449	1,013,940,000	1,013,427,742	25	24,844,702

(2) 償還状況

ア 元金

住宅改修

(単位：円)

年 度	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)
	現年度分	過年度分	小 計		
23	0	99,328	99,328	188,759,262	94.83
22	0	0	0	188,659,934	94.94

宅地取得

(単位：円)

年 度	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)
	現年度分	過年度分	小 計		
23	0	71,678	71,678	260,078,054	98.48
22	165,000	46,572	211,572	260,006,376	98.52

住宅新築

(単位：円)

年 度	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)
	現年度分	過年度分	小 計		
23	0	247,099	247,099	540,163,829	98.07
22	0	198,103	198,103	539,916,730	98.02

合計

(単位：円)

年 度	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)
	現年度分	過年度分	小 計		
23	0	418,105	418,105	989,001,145	97.54
22	165,000	244,675	409,675	988,583,040	97.55

イ 元利合計

住宅改修

(単位：円)

年 度	償 還 額(元利合計)		
	現年度分	過年度分	計
23	0	103,620	103,620
22	0	0	0

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明		
宅地取得		(単位：円)		
年 度	償 還 額(元利合計)			
	現年度分	過年度分	計	
23	0	80,328	80,328	
22	209,814	51,254	261,068	
住宅新築		(単位：円)		
年 度	償 還 額(元利合計)			
	現年度分	過年度分	計	
23	0	257,220	257,220	
22	0	208,980	208,980	
合計		(単位：円)		
年 度	償 還 額(元利合計)			
	現年度分	過年度分	計	
23	0	441,168	441,168	
22	209,814	260,234	470,048	
5目 福祉館費		決算額	15,164,666円	
1 福祉館管理運営事業				
手芸、料理等の講習会や会議室貸し出し等を行った。				
(1) 福祉館あけぼの				
区 分		平成23年度	平成22年度	
手芸・料理等の講習会		142回	140回	
会議室利用		282件	293件	
図書等閲覧利用人員		延べ16人	延べ92人	
相談件数		19件	51件	
(2) 番生寺会館				
区 分		平成23年度	平成22年度	
手芸・料理等の講習会		56回	49回	
会議室利用		278件	197件	
図書等閲覧利用人員		延べ60人	延べ82人	
相談件数		142件	164件	
6目 国民年金事務費		決算額	1,167,108円	
1 国民年金の状況				
平成22年1月に、社会保険庁から日本年金機構に事務が移管された。市は、資格取得や給付裁定請求、各種届出等の受付事務、申請免除受付・進達事務、年金相談業務についての法定受託事務を行っている。				
不安定な経済情勢により、将来への不安を感じる人も多い中で、市民の将来の年金確保のため、年金制度の説明及び年金相談や申請免除・納付猶予の促進等により未加入者の解消に努めた。				
(1) 国民年金被保険者				(単位：人)
区 分		平成23年度	平成22年度	増 減
第1号被保険者		12,384	12,823	△439
任意加入被保険者		103	106	△3
第3号被保険者		7,155	7,321	△166
計		19,642	20,250	△608

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
(2) 国民年金保険料免除承認等件数	(単位：件・人)			
区 分	平成23年度	平成22年度	増 減	
年間申請受付件数 (年金事務所受付数)	2,991 (1,527)	2,879 (1,428)	112 (99)	
申請免除 (年間)	全額免除	725	708	17
	若年者納付猶予	220	234	△14
	3/4免除	99	113	△14
	半額免除	59	89	△30
	1/4免除	36	30	6
	免除等件数計	1,139	1,174	△35
	審査却下者数	119	119	0
学生納付特例 (年間)	適用者	1,237	1,219	18
	却下者数	0	0	0
法定免除	適用者累計	752	737	15
年度末保険料免除等被保険者累計	3,128	3,130	△2	
(3) 国民年金裁定請求受付件数	(単位：件)			
区 分	平成23年度	平成22年度	増 減	
老齢基礎年金	55	47	8	
障害基礎年金	50	46	4	
遺族年金	1	1	0	
寡婦年金	1	1	0	
死亡一時金	20	17	3	
特別障害給付金	1	0	1	
計	128	112	16	
未支給年金請求	653	617	36	
7目 国民健康保険費	決算額	458,995,271円		
1 国民健康保健事業特別会計繰出金	国民健康保険事業特別会計運営のため、保険税軽減分、職員給与費等事務費、出産育児一時金支給費等について国民健康保険事業特別会計へ繰り出した。			
国民健康保険事業特別会計への繰出金の状況	(単位：円)			
区 分	繰出額			
保険基盤安定繰出金 (保険税軽減分)	215,945,460			
保険基盤安定繰出金 (保険者支援分)	46,479,579			
出産育児一時金繰出金	26,164,726			
財政安定化支援事業繰出金	38,651,841			
その他繰出金	3,815,258			
事務費等繰出金	127,938,407			
合 計	458,995,271			
8目 介護保険費	決算額	923,094,768円		
1 介護保険事業特別会計繰出金	介護保険事業特別会計運営のため、介護給付費、介護認定等事務費、職員給与費等事務費及び地域支援事業費について介護保険事業特別会計へ繰り出した。			

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
介護保険事業特別会計への繰出金の状況	
区 分	繰出額(円)
介護給付費繰出金	731,041,491
介護認定等事務費繰出金	36,435,878
職員給与費等繰出金	131,151,381
地域支援事業費繰出金	24,466,018
合 計	923,094,768

10目 後期高齢者医療費	決算額	958,129,698円
--------------	-----	--------------

1 後期高齢者医療事業特別会計繰出金  
 後期高齢者医療事業特別会計運営のため、事務費繰出金及び保険基盤安定繰出金について後期高齢者医療事業特別会計へ繰り出した。

後期高齢者医療事業特別会計への繰出金の状況 (単位：円)

区 分	繰出額
事務費繰出金	33,961,356
保険基盤安定繰出金	153,657,900
合 計	187,619,256

2 後期高齢者医療広域連合負担金  
 静岡県後期高齢者医療広域連合へ市の法定負担分の概算額を支出した。過不足分は翌年度精算する。  
 (単位：円)

区 分	支出額
療養給付費等負担金	730,565,000
過年度療養給付費等負担金	5,865,062

3 健康管理事業  
 (1) 健康管理事業  
 後期高齢者医療制度の被保険者で、保険料の滞納が無い者に対し、人間ドック費用の7割を助成した。  
 平成23年度人間ドック費用助成実績 (単位：件、円)

健診機関名称	コース	件数	助成単価	助成金額
市立島田市民病院健診センター	日帰り	140	26,460	3,704,400

(2) 健康診査事業  
 高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、静岡県後期高齢者医療広域連合が被保険者に対し実施(努力義務)する健康診査について、国保特定健康診査に準じた内容で受託し実施した。

平成23年度健康診査実施状況 (単位：人、%、円)

地区	形態	対象者	受診者数	受診率	健診委託料	実施機関
島田	個別	9,280	2,383	26.9	20,034,485	(社)島田市医師会
	集団		110		777,776	市立島田市民病院 (社)榛原医師会 (福)聖隷予防検診センター
金谷	集団	2,813	580	20.6	3,138,649	(社)榛原医師会 (福)聖隷予防検診センター
川根	集団	1,129	303	26.8	1,727,216	静岡厚生病院 (社)榛原医師会
計		13,222	3,376	25.5	25,678,126	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
2項 児童福祉費	決算額	4,606,218,224円
1目 児童福祉総務費	決算額	1,944,374,404円

1 家庭児童相談室運営事業

相談室では、家庭やその他機関等からの相談に応じ、子どもの置かれた環境を的確に捉えた上で関係機関との連携を取りながら、子どもとその家庭に最も効率的な援助を行い、子どもの健全育成と母親の育児不安の軽減に努めた。

また、島田市要保護児童対策地域協議会の運営や各部会との関わりを密にし、個別ケースごとのアセスメント支援や部会間の調整を行った。

家庭児童相談室における相談 単位：件（実数）

相 談 内 容	平成23年度	平成22年度
性格・生活習慣	24	60
知能・言語	17	49
学校生活等	25	24
非行	7	13
家族関係	112	75
児童虐待	102	103
DV	10	11
環境福祉	55	28
障害	16	30
その他	36	18
計	404	411

相談後の児童福祉法に基づく処理件数 単位：件（実数）

処 理 区 分	平成23年度	平成22年度
社会福祉主事の指導	5	3
児童相談所への送致又は通知	10	3
児童相談所の委嘱による調査	12	2
その他の機関にあつ旋、紹介	27	26
相談、助言、その他	350	377
計	404	411

島田市要保護児童対策地域協議会活動実績

年度	実 績
23	島田市要保護児童対策地域協議会代表者会 1回 (実務者会議) 児童生徒指導、虐待、DV部会 6回 母子保健、乳幼児部会 12回 障害児等療育部会 2回
22	島田市要保護児童対策地域協議会代表者会 1回 (実務者会議) 児童生徒指導、虐待、DV部会 5回 母子保健、乳幼児部会 12回 障害児等療育部会 3回

2 民間保育所運営事業

(1) 民間保育所助成事業

ア 市単独補助事業

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

より充実した保育を実施するため、国で定められた運営費に上乗せした補助を行い、市内民間保育所12園への支援を行った。

- (ア) 保育所等運営費補助金
  - ・児童の保育に要する経費
  - ・職員の勤務条件及び研修に要する経費
- (イ) 障害児保育事業費補助金
  - ・特別児童扶養手当の認定を受けた児童（重度障害児）及び公的機関の認定、または診断を受けた軽度障害児の保育に要する経費
- (ウ) 茶期一時保育事業委託
 

大型連休中、茶業により保育に欠ける児童を保育するために要する経費

事業名	事業の概要	委託額 (円)	事業主体
茶期一時保育事業	事業期間 H23. 4. 29～23. 5. 8	96,000	五和保育園
	保育日 1日あたり保育士2名配置	72,000	神谷城保育園

イ 多様な保育推進事業費補助金（県補助）

乳幼児の受け入れ推進を図るための助成を行った。

- (ア) 乳幼児保育事業（全園実施）

ウ 保育対策等促進事業費補助金（国庫補助）

- (ア) 延長保育等事業費補助金
  - ・延長保育促進事業（全園実施）
  - ・多世代の交流促進及び育児支援のため実施する行事に要する経費  
（次世代育成支援対策交付金）（民間9園）

(イ) 病後児保育事業

病気の回復期で集団保育が心配なとき、かつ保護者が仕事等で保育できない場合に、専任の看護師と保育士が保育した。

対象…市内の小学校3年生までの児童

実施園…島田聖母保育園、初倉保育園、五和保育園、大津保育園

(ウ) 電力需給対策に対応した休日保育特別事業【平成23年度新規事業】

電力需給対策による休日勤務の保護者に対応し、特別に休日保育を行った。

実施期間…平成23年7月～9月

実施園…島田市立第一保育園、五和保育園

○平成23年度利用者実績

施設名	利用人数(延べ)
島田市立第一保育園	97人
五和保育園	82人

エ 一時預かり事業（子育て支援交付金）

- (ア) 一時的な保育の利用を受け入れた保育所に対し助成を行い、多様化する保護者のニーズに応えた。  
こばと保育園、月坂保育園、かわね保育園

○平成23年度利用者実績

施設名	利用人数(延べ)
こばと保育園	42人
月坂保育園	168人
島田市立かわね保育園	313人

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明						
平成23年度 保育所別各種補助金内訳							(単位：円)	
施 設 名	保育所等運営費補助金(市)	障害児保育事業費補助金(市)	多様な保育推進事業費補助金(県)	延長保育等事業費補助金(国)	病後児保育事業業務委託費(国)	一時預かり事業費補助金(交付金)	合 計	
こばと保育園	1,333,400	2,109,000	2,528,700	5,403,000	0	75,600	11,449,700	
島田聖母保育園	2,131,400	0	6,982,700	5,888,000	4,200,000	0	19,202,100	
初倉保育園	2,130,800	1,924,000	7,154,600	6,138,000	5,100,000	0	22,447,400	
六合第一保育園	2,189,000	2,109,000	7,134,600	6,027,830	0	0	17,460,430	
六合第二保育園	1,788,800	1,776,000	5,762,900	6,151,000	0	0	15,478,700	
月坂保育園	2,093,000	888,000	6,057,000	5,888,000	0	302,400	15,228,400	
くりのみ保育園	1,190,000	1,332,000	2,499,300	6,138,000	0	0	11,159,300	
たけのこ保育園	1,137,800	1,702,000	1,559,200	6,362,030	0	0	10,761,030	
ゆたか保育園	1,559,000	444,000	3,206,700	6,138,000	0	0	11,347,700	
五和保育園	4,055,000	1,776,000	13,405,600	6,176,222	10,700,000	0	36,112,822	
神谷城保育園	1,599,800	0	2,327,800	4,853,000	0	0	8,780,600	
大津保育園	1,845,200	7,807,000	3,750,700	6,388,000	5,100,000	0	24,890,900	
菊川市	菊川保育園	0	0	242,400	0	0	242,400	
	横地保育園	0	0	80,800	0	0	80,800	
合 計	23,053,200	21,867,000	62,693,000	71,551,082	25,100,000	378,000	204,642,282	

(2) 民間保育所委託運営事業

民間保育所へ乳幼児（2か月～就学前）の入所措置を行い、児童の健全育成と保護者の就労等支援を図った。就学前児童数は漸減傾向にあるが、就労形態の変化、不況に伴う共働き家庭の増加、母子世帯の増加などにより、保育需要は依然として高い状況にある。

平成23年度民間及び市外保育所運営費（支出額） (単位：円)

区 分	金 額	備 考
国・県負担金	453,428,355	
市負担金	243,686,955	市負担金 155,203,605 保育料軽減額分の負担額 88,483,350
保育料	384,527,600	市の基準による保育料
平成23年度 支出	1,081,642,910	
平成22年度 支出	1,099,992,490	
増 減	△18,349,580	

平成24年3月初日現在入所児童数 (単位：人)

保 育 所 名	定 数	入所児童数	年 齢 別 内 訳			
			0～2歳児	3歳児	4～5歳児	
市 内	こばと保育園	45	55	25	11	19
	島田聖母保育園	120	139	60	25	54
	初倉保育園	140	137	59	28	50
	六合第一保育園	120	125	56	28	41
	六合第二保育園	90	103	40	21	42
	月坂保育園	100	115	51	24	40
	くりのみ保育園	45	50	23	11	16
	たけのこ保育園	30	37	16	7	14
	ゆたか保育園	60	73	30	10	33

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
五和保育園	300	326	117	78	131
神谷城保育園	90	83	28	18	37
大津保育園	90	109	37	27	45
小 計	1,230	1,352	542	288	522
市外からの受託	—	29	15	2	12
市外保育園	—	3	3	0	0
合 計	1,230	1,384	560	290	534
前年同期合計	1,230	1,405	602	250	553
増 減	0	△21	△42	40	△19

保育所入所者状況（公立含む）

（単位：人）

保 育 所 名		平成24年3月1日	平成23年3月1日	増 減
公 立	第一保育園	114	115	△1
	第三保育園	94	93	1
	金谷中央保育園	96	99	△3
	かわね保育園	100	106	△6
	市外からの受託	7	8	△1
	計	411	421	△10
民 間	こばと保育園	55	54	1
	島田聖母保育園	139	140	△1
	初倉保育園	137	135	2
	六合第一保育園	125	126	△1
	六合第二保育園	103	117	△14
	月坂保育園	115	117	△2
	くりのみ保育園	50	50	0
	たけのこ保育園	37	32	5
	ゆたか保育園	73	74	△1
	五和保育園	326	326	0
	神谷城保育園	83	81	2
	大津保育園	109	113	△4
	市外からの受託	29	37	△8
	計	1,381	1,402	△21
市外保育園	4	3	1	
合 計	1,796	1,826	△30	

3 放課後児童健全育成事業

小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童に放課後の適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図った。

平成23年度は、公設民営11か所、公設公営2か所、民設民営2か所の放課後児童クラブと公設公営の土曜児童クラブ1か所で事業を実施した

(1) 放課後児童クラブ運営状況

名 称	形 態	月 平 均 登 録 児 童 数 (人)	委 託 料 (円)	
			平成23年度	平成22年度
金谷小学校区放課後児童クラブ	公設公営	49.3	—	—
島田北部4小学校区放課後児童クラブ	公設公営	29.7	—	—
島田市土曜児童クラブ	公設公営	13.4	—	—

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
島田第一小学校区放課後児童クラブ	公設民営	42.8	7,771,149	7,328,000	
島田第二小学校区放課後児童クラブ	公設民営	38.4	4,848,980	5,024,000	
島田第三小学校区放課後児童クラブ	公設民営	31.0	5,342,483	5,100,000	
島田第四小学校区放課後児童クラブ	公設民営	43.4	7,128,795	7,195,000	
島田第五小学校区放課後児童クラブ	公設民営	29.3	4,743,197	4,514,000	
大津小学校区放課後児童クラブ	公設民営	34.8	5,023,248	5,756,000	
初倉小学校放課後児童クラブ	公設民営	37.1	5,122,297	5,143,000	
初倉南小学校放課後児童クラブ	公設民営	25.2	5,490,219	5,594,000	
六合小学校区放課後児童クラブ	公設民営	23.0	4,347,404	4,275,000	
六合東小学校区放課後児童クラブ	公設民営	45.2	6,947,328	6,399,000	
五和小学校区放課後児童クラブ	公設民営	38.3	6,573,340	6,361,000	
島田六合放課後児童クラブ「りんご」	民設民営	42.5	4,483,000	4,480,000	
神谷城保育園放課後児童クラブ	民設民営	20.3	2,030,500	1,186,500	
計			69,851,940	68,355,500	

(2) 放課後児童クラブ利用料の収納額 (単位：円)

平成23年度	平成22年度	増 減
36,762,500	35,082,000	1,680,500

※土曜児童クラブ利用料を含む。

(3) 放課後児童クラブ施設整備事業

平成24年度に建設を予定する金谷小学校区放課後児童クラブ室の設計管理業務を委託により実施した。  
委託料 777,000円

4 地域子育て支援事業

(1) 地域子育て支援センター事業

子育て家庭等からの育児不安などの相談や子育て支援に関する情報等を提供し、地域の子育て家庭への育児支援のため、公立の第一保育園、第三保育園及びかわね保育園で事業を実施した。また、民間保育園7か所においても委託事業として取り組んだ。

	実施保育園	名 称	年度	開放日数(日)	利用延べ人数(人)	相談件数(件)
公 立	第一保育園	あそぼう会	23	247	6,764	105
			22	245	7,411	109
	第三保育園	あひるっこ	23	227	5,637	74
			22	226	6,151	63
	かわね保育園	むくむく	23	242	5,159	78
			22	239	4,987	71
民 間	くりのみ保育園	木の実	23	274	3,573	208
			22	237	3,108	228
	五和保育園	ひよこ	23	267	8,579	684
			22	261	8,563	772
	島田聖母保育園	シャローム	23	210	4,319	568
			22	211	3,147	454
	初倉保育園	たんぽぽ広場	23	243	4,433	134
			22	245	4,736	180
	六合第二保育園	にこにこ広場	23	235	4,191	55
			22	239	3,425	63

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
-------	---------------	--	--	--	--

ゆたか保育園	子育てふうせん	23	238	3,815	379
		22	234	2,310	163
大津保育園	ひばり	23	224	4,494	144
		22	225	4,066	137
合 計		23	2,407	50,964	2,429
		22	2,362	47,904	2,240

(2) 託児員派遣事業

子育て支援及び女性の積極的な社会参加を促すため、市などが行う講座・講演会等に託児室を設置する託児員派遣事業を実施した。

区分	平成23年度	平成22年度	増減
派遣実人員(人)	560	546	14
派遣延べ回数(回)	83	75	8
託児延べ人数(人)	896	927	△31

5 児童センター運営事業

児童に健全な遊びを与え、健康と体力を増進し、情操を豊かにするための事業を実施した。また、児童センター及び児童館を拠点に親子の交流事業等を行う母親クラブに補助金を交付し地域活動の促進に努めた。

児童センター運営状況 (利用状況)

区 分	開館日数	利用者数	1日平均利用者数		
			平成22年度	平成23年度	増減
中央児童センター	282日	25,582人	95人	91人	△4人
初倉児童センター	281日	27,827人	112人	99人	△13人
川根児童館	294日	9,577人	41人	33人	△8人

地域組織(母親クラブ)活動育成事業実施状況

クラブ名	会員(人)	決算額(円)		補助額(円)	主 要 事 業 内 容
		平成23年度	平成22年度		
しまだライラック	42	203,355	203,487	189,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域組織活動連絡協議会研修会参加</li> <li>・児童センター共催クリスマス会等開催</li> <li>・親子交流行事の企画実施</li> <li>・遊び場点検の実施</li> </ul>
初倉母親クラブ	55	196,248	272,757	189,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域組織活動連絡協議会研修会参加</li> <li>・児童センター共催クリスマス会等開催</li> <li>・親子交流行事の企画実施</li> <li>・児童センター大掃除などの奉仕活動</li> </ul>

6 子育て交流サロン運営事業

(1) 子育てサロン

島田市地域交流センター内「子育て交流サロン」において、未就学児童とその保護者同士の交流の場を提供するとともに、育児相談等に対応し、育児不安の軽減及び子育ての孤立化防止を図った。

子育てサロン利用者数 (単位：人)

年 度	大人	子ども	計
23	3,828	4,377	8,205
22	3,787	4,259	8,046
増減	41	118	159

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(2) 一時託児

保護者の緊急の用事、仕事、リフレッシュ等のため、乳幼児の一時託児事業を実施した。

一時託児利用件数 (単位：件)

年 度	午前10時～午後5時	午後5時～午後7時
23	423	1
22	421	2
増減	2	△1

(3) ファミリー・サポート・センター事業

委託会員と受託会員との会員組織による育児サービス事業を実施するため、援助の申し入れや打診など会員相互の調整を行い、子育て支援活動の促進を図った。平成23年度は、定期的に活動を委託する会員からの依頼がなくなったため、平成22年度に比べて年間活動回数が減少した。

ファミリー・サポート・センター活動実績

年 度	年度末会員数 (人)				年間活動回数 (件)
	委託	受託	委託受託	計	
23	235	100	66	401	180
22	236	103	70	409	606
増減	△1	△3	△4	△8	△426

7 公立保育園の民営化事業

島田市立保育園民営化計画に基づき、金谷中央保育園の民営化について保護者に対し説明会を実施するとともに、移管先法人選考委員会を設置し、平成24年4月1日から移管する法人を選考、決定した。また、移管に伴う諸手続きを行った。

(1) 保護者に対する民営化説明会の実施

説明会を複数回に分けて実施することでより多くの保護者の出席と、様々な保護者からの質問や不安などを聞きだし、その解消に努めた。

開催期日	開催場所	参加人数(延べ人数)
平成23年7月25日	金谷中央保育園2階学童室	5
平成23年7月27日	金谷中央保育園2階学童室	9
平成23年8月2日	金谷中央保育園2階学童室	11
平成23年8月4日	金谷中央保育園2階学童室	18
平成23年8月5日	金谷中央保育園2階学童室	9
合 計		52

(2) 移管先法人選考委員会の開催

移管先法人の応募・選考方法について協議を行った。

日 付	会議等の名称	協議事項等
平成23年9月7日	第1回選考委員会	・委嘱状交付、正副委員長の互選 ・移管先法人募集要領、選考方針について
平成23年9月15日	第2回選考委員会	・募集要領について ・審査基準について
平成23年10月14日	第3回選考委員会	・応募状況・応募法人の概要について ・移管申込書類の審査 ・ヒアリング事項の検討
平成23年10月19日	現有施設見学	・応募法人の現有施設(神谷城保育園)見学
平成23年10月21日	現有施設見学	・応募法人の現有施設(神谷城保育園)見学
平成23年10月21日	第4回選考委員会	・ヒアリング事項の確認 ・応募法人に対するヒアリング(第1回目)

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

平成23年11月4日	第5回選考委員会	・応募法人に対するヒアリング（第2回目） ・選考審査表の記入
平成23年11月11日	第6回選考委員会	・選考審査協議 ・移管先法人決定

(3) 移管先法人の決定

移管先法人選考委員会による選考の結果を受けて、下記の法人に移管することを決定した。

所在地 島田市神谷城 1202 番地

名 称 社会福祉法人山の家福祉会（理事長 小関 秀利）

(4) 保育引継ぎ事業

平成24年4月1日の移管後の円滑な運営を図るため、保育引継ぎ事業※を行う（福）山の家福祉会に対して補助金を交付した。

事業名	事業の概要	交付額（円）	延人数
保育引継ぎ事業	事業期間 平成 24. 1. 5～3. 30 保育士、調理員、事務員を派遣	2,055,000	保育士 157人 調理員 21人 事務員 48人

※保育引継ぎ事業

移管先法人が、児童の性格や行動様式、保育内容や調理方法等習得することを目的に、移管期日前に移管予定の保育園に職員を派遣する等の事業

8 保育ママ運営事業

(1) 保育ママ運営事業（家庭的保育事業）

家庭的保育事業は、保護者が就労などで子どもを保育することができないとき、子どもを島田市の認定を受けた保育者が居宅などの専用の保育室で保育する小規模の保育事業である。平成23年度から、新規に1か所委託を開始し、主に3歳未満の保育所待機児童の解消を図った。

保育ママ利用状況

年 度	開設場所 (箇所)	保育者数 (人)	利用児童数 (実人数)	年齢別内訳	
				3歳未満	3歳以上
23	2	4	13	11	2
22 (10月から事業開始)	1	3	5	5	0

9 長期休暇児童健全育成事業【平成23年度新規事業】

小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童に長期休暇期間における適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図った。

(1) 長期休暇児童クラブの運営状況

ア 利用児童数

(単位：人)

開催場所	夏休み	冬休み	春休み	計
市民会館	15	7	4	26
初倉公民館	6	0	0	6
金谷公民館	9	0	0	9
計	30	7	4	41

イ 長期休暇児童クラブ利用料の収納額

(単位：円)

開催場所	夏休み	冬休み	春休み	計
市民会館	77,335	10,175	8,770	96,280

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明																		
<table border="1"> <tr> <td>初倉公民館</td> <td>44,450</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>44,450</td> </tr> <tr> <td>金谷公民館</td> <td>44,700</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>44,700</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>166,485</td> <td>10,175</td> <td>8,770</td> <td>185,430</td> </tr> </table>		初倉公民館	44,450	0	0	44,450	金谷公民館	44,700	0	0	44,700	計	166,485	10,175	8,770	185,430				
初倉公民館	44,450	0	0	44,450																
金谷公民館	44,700	0	0	44,700																
計	166,485	10,175	8,770	185,430																
3目 子ども手当費	決算額	1,898,724,597円																		
1 子ども手当扶助費																				
<p>児童を養育している者に子ども手当を支給し、子どもの健やかな育ちを支援することに寄与した。</p> <p>子ども手当支給状況</p>																				
区 分		延児童数(人)		支給額(円)																
0～3歳	被用者	22,356		305,256,000																
	非被用者	4,587		62,507,000																
3歳以上小学校修了前	被用者	76,639		934,450,000																
	非被用者	16,775		206,105,000																
中学生		31,738		381,358,000																
施設入所		60		600,000																
特定施設入所子ども		16		160,000																
計		152,171		1,890,436,000																
平成22年度		127,428		1,656,564,000																
増 減		24,743		233,872,000																
平成23年度は、平成23年2月～平成24年1月分の子ども手当を支給した。																				
平成23年10月からは特別措置法による子ども手当の請求に基づき支給した。																				
4目 母子福祉費	決算額	273,857,266円																		
1 ひとり親家庭等支援事業																				
(1) ひとり親家庭等支援事業																				
ア 高等職業訓練促進給付金事業																				
資格取得のため養成機関(看護学校)で修業する母子家庭の母に対し、高等職業訓練促進給付金を支給した。																				
年 度	申請件数(件)	支給実人数(人)	支給金額(円)																	
23	4	4	5,781,000																	
22	3	3	5,076,000																	
イ 高等職業訓練修了支援給付金事業																				
高等職業訓練促進給付金受給者が養成機関を修了した際に支給した。																				
年 度	申請件数(件)	支給実人数(人)	支給金額(円)																	
23	3	3	150,000																	
22	0	0	0																	
ウ 自立支援教育訓練給付金事業																				
母子家庭の母が職業能力開発のための講座を受講し、修了した際に支給した。																				
年 度	申請件数(件)	支給実人数(人)	支給金額(円)																	
23	3	3	212,185																	
22	0	0	0																	
エ 母子生活支援施設委託措置事業																				
保護すべき事情のある母子の施設入所を行い、精神的、経済的に自立更生ができるよう総合的な保護と指導を行った。																				

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明			
施設入所措置状況					
年 度	措置世帯数 (世帯)	措置実人員 (人)	措置延べ人員 (人)	措置費 (円)	施設名
23	2	5	60	4,359,370	千代田寮 (静岡市)
22	2	5	42	2,665,098	
※措置延べ人員は、月ごとの措置実人員を集計したものである。					
(2) 父子家庭等支援事業					
養育者支援金					
児童扶養手当を受給することができない養育者を支援するため支給した。					
養育者支援金支給状況					
年 度	7月末支給人数(人)	3月末支給人数(人)	支給額(円)		
23	1	1	666,160 (養育者支援金)		
22	17	2	4,709,100 (父子家庭等支援金、 養育者支援金)		
※平成22年8月事業開始、父子家庭等支援金から移行					
2 児童扶養手当支給事業					
(1) 児童扶養手当扶助費					
18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童がいるひとり親家庭等に児童扶養手当を支給し、ひとり親家庭等の福祉増進を図った。					
児童扶養手当支給状況					
年 度	3月末認定者数 (人)	支給者数(人) (認定者のうち実際に手当を受給している人・3月末)	支給額(円)		
23	670	605	260,349,560		
22	636	565	235,109,220		
5目 心身障害児援護費		決算額 89,983,722円			
1 心身障害児援護事務費					
(1) 心身障害児通園施設運営費負担金					
日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練などの児童デイサービスを実施しているつくしの家(牧之原市)の運営費の一部を負担した。					
年 度	負担金額(円)				
23	785,510				
22	1,202,950				
2 こども発達支援センター運営事業					
心身に障害のある就学前の児童に日常の生活指導及び療育指導等を行った。					
(1) 児童デイサービス事業 (単位：人)					
年 度	区分	定期通園	親子通園	並行通園	計
23	実人数	25	20	33	78
	延人数	223	117	271	611
22	実人数	25	20	25	70
	延人数	248	164	209	621
※延人数は月ごとの在園人数を集計したものである。					

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																																	
(2) 日中一時支援事業	<p>障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息等のために、こども発達支援センターで障害児の見守りなどの支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>利用人数(実人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	利用人数(実人数)	23	1	22	2																								
年 度	利用人数(実人数)																																	
23	1																																	
22	2																																	
(3) 発達支援交流保育事業費負担金【平成23年度新規事業】	<p>島田市こども発達支援センターの児童デイサービス事業を利用する児童の発達を支援するため、隣接する大津保育園との交流・連携の推進に要する経費に対し負担金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業の概要</th> <th>交付額</th> <th>事業主体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発達支援交流 保育事業</td> <td>事業期間 平成23. 4. 1～24. 3. 31 総事業費 6,066,835円</td> <td>5,400,000円</td> <td>社会福祉法人 五和会 (大津保育園)</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	事業の概要	交付額	事業主体	発達支援交流 保育事業	事業期間 平成23. 4. 1～24. 3. 31 総事業費 6,066,835円	5,400,000円	社会福祉法人 五和会 (大津保育園)																						
事業名	事業の概要	交付額	事業主体																															
発達支援交流 保育事業	事業期間 平成23. 4. 1～24. 3. 31 総事業費 6,066,835円	5,400,000円	社会福祉法人 五和会 (大津保育園)																															
3 心身障害児援護事業																																		
(1) 心身障害児施設機能利用事業	<p>在宅の心身障害児に対して、施設の機能を活用した日常生活訓練・運動訓練・感覚訓練・個別指導（療育相談）を駿遠学園「おひさま」において実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>通所人数(人)</th> <th>利用延べ回数(回)</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>13</td> <td>377</td> <td>909,600</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>16</td> <td>471</td> <td>1,196,400</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	通所人数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	23	13	377	909,600	22	16	471	1,196,400																		
年 度	通所人数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)																															
23	13	377	909,600																															
22	16	471	1,196,400																															
(2) 心身障害児児童扶養手当	<p>特別児童扶養手当の対象とならない軽度の障害をもつ児童の養育者に給付し、生活支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>支給実人数(人)</th> <th>支給金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>34</td> <td>1,095,000</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>38</td> <td>1,068,000</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	支給実人数(人)	支給金額(円)	23	34	1,095,000	22	38	1,068,000																					
年 度	支給実人数(人)	支給金額(円)																																
23	34	1,095,000																																
22	38	1,068,000																																
(3) 障害児放課後児童クラブ運営事業	<p>障害児の放課後活動を支援するため、放課後児童クラブの運営を委託した。</p> <p>風の子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>登録児童数(人)</th> <th>利用延べ回数(回)</th> <th>事業費(円)</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>42</td> <td>1,398</td> <td>2,694,000</td> <td>駿遠学園管理組合</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>45</td> <td>1,513</td> <td>2,845,900</td> <td>駿遠学園管理組合</td> </tr> </tbody> </table> <p>にこにこ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>登録児童数(人)</th> <th>利用延べ回数(回)</th> <th>事業費(円)</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>27</td> <td>1,190</td> <td>2,330,400</td> <td>駿遠学園管理組合</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>27</td> <td>1,299</td> <td>2,545,500</td> <td>駿遠学園管理組合</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	登録児童数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	委託先	23	42	1,398	2,694,000	駿遠学園管理組合	22	45	1,513	2,845,900	駿遠学園管理組合	年 度	登録児童数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	委託先	23	27	1,190	2,330,400	駿遠学園管理組合	22	27	1,299	2,545,500	駿遠学園管理組合
年 度	登録児童数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	委託先																														
23	42	1,398	2,694,000	駿遠学園管理組合																														
22	45	1,513	2,845,900	駿遠学園管理組合																														
年 度	登録児童数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	委託先																														
23	27	1,190	2,330,400	駿遠学園管理組合																														
22	27	1,299	2,545,500	駿遠学園管理組合																														
4 駿遠学園管理組合運営費負担金	<p>障害児の生活適応能力の向上を図るため、4市2町の広域施設として運営しており、均等割と人口割により各市町で負担している。島田市から10人の障害児が入所し、将来自立するための指導・訓練を受けている。</p> <p>負担割合…人口割 70% 均等割 30% (児童入所分27,173千円、運営分9,008千円)</p> <p>負担金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>金 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>36,181,000</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>46,092,000</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	金 額(円)	23	36,181,000	22	46,092,000																								
年 度	金 額(円)																																	
23	36,181,000																																	
22	46,092,000																																	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

5 心身障害者扶養共済年金事業

(1) 心身障害者扶養共済掛金負担金

心身障害者の将来的な生活安定を図るため県の制度に基づき事務処理を行った。

年 度	加入者数(人)	負担金額(円)
23	23	1,056,000
22	23	1,063,680

(2) 心身障害者扶養共済年金交付金

県の制度による年金の支給事務を行った。

年 度	受給実人員(人)	交付金額(円)
23	27	7,040,000
22	25	6,830,000

(3) 特別児童扶養手当

国の制度を受けての書類手続きによる、養育者の生活支援を行った。

特別児童扶養手当取扱状況

年 度	認定者(人)	受給者(人)
23	207	205
22	206	198

6 地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業(繰越明許)

(1) 障害児放課後児童クラブ施設整備事業(補助率 国 10/10)

障害児放課後児童クラブ「ここにこ」に障害者用トイレを設置した。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
平成22年度 障害児放課後児童クラブ トイレ設置工事	障害者用トイレ RC造 平屋建て 延べ床面積：5.53㎡	4,954,950	工事請負費 4,954,950 (有)持塚基礎

6目 保育所費

決算額

184,863,497円

1 保育所運営事業

社会環境や雇用形態の変化により、複雑・多様化する保育需要に応じていくため、公立保育園4園において園児の受け入れと、延長保育及び障害児保育等を実施し、保育の充実と児童の健全育成に努めた。

平成24年3月初日現在入所児童数

(単位：人)

保育所名	定 数	入所 児童数	年齢別内訳		
			0～2歳児	3歳児	4～5歳児
第一保育園	120	114	41	21	52
第三保育園	80	94	32	25	37
金谷中央保育園	90	96	36	20	40
かわね保育園	150	100	26	22	52
小 計	440	404	135	88	181
市外からの受託	—	7	3	0	4
合 計	440	411	138	88	185
前年同期合計	440	421	153	83	185
増 減	0	△10	△15	5	0

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
7目 少子化対策費	決算額 44,455,221円

### 1 少子化対策事業

#### (1) 不妊治療費助成事業

少子化対策の一環として、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。  
平成22年9月治療分から助成限度額を撤廃し、自己負担分を全額助成した。

区 分	平成23年度	平成22年度
申請件数	159件	65件
交付決定件数	158件	63件
市助成総額	39,403,553円	11,294,966円

#### (2) 育児サポーター派遣事業

子育て支援の一環として、就学前の子どもがいる出産前の母親、出産後180日以内の母親の家庭へ訪問による育児相談・援助を行い、子育て家庭が安心して生活を営むことができるよう支援に努めた。

育児サポーター派遣状況

区 分	平成23年度	平成22年度
利用者数	153人	148人
派遣時間数	2,382.5時間	1,753.2時間

年 度	派遣回数	支援内容（重複あり）（回）							計
		育児に関する相談・助言	授乳	おむつ取替え	沐浴	遊び	散歩	その他（母不在時の乳児の見守りなど）	
23	1,301	1,293	223	808	40	1,204	195	1,100	4,863
22	964	858	137	491	51	846	175	703	3,261

### 2 次世代育成支援対策事業

#### (1) 島田市子育て支援ネットワーク運営事業

市内の子育て支援団体の活動について広く市民に周知し、地域の子育て支援の充実を図った。

委託費：100,000円

委託先：島田市子育て支援ネットワーク

委託内容：運営委員会、情報交換会、スキルアップ講座

#### (2) つどいの広場事業交付金

地域の公民館・公会堂を使い、児童及びその保護者の交流、育児相談、育児に関する情報提供等を行う団体に交付金を交付し、子育てを地域全体で見守る雰囲気醸成するとともに、子育て家庭の育児負担の軽減を図った。

年 度	交付金額（円）	交付団体数
23	700,000	7
22	600,000	6

### 3 緊急雇用創出事業

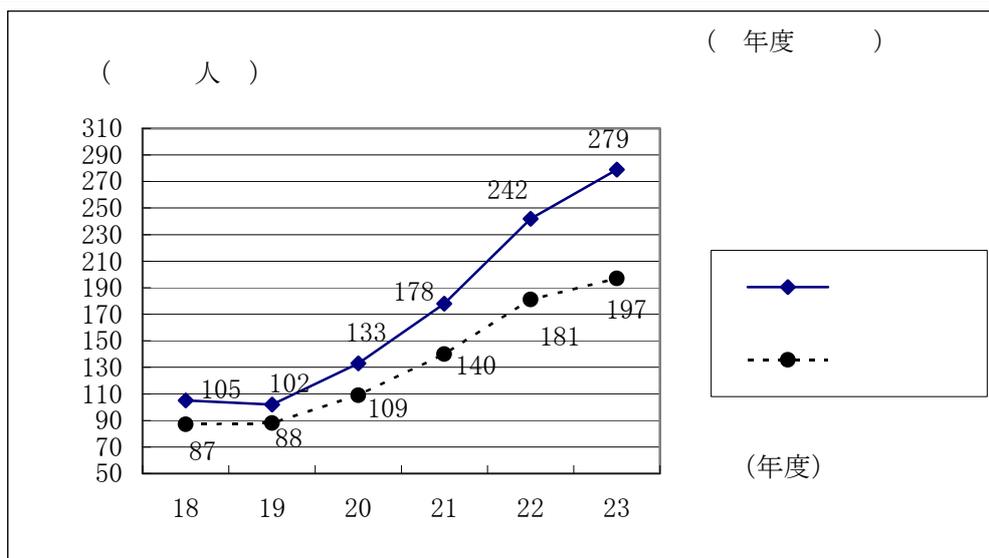
国の緊急雇用創出事業臨時特例対策補助金を活用し、育児サポーター派遣事業の拡充を行った。

拡充内容：就学前の子どもと同居している妊娠中の母親を対象として加えた。また、世帯の状況にかかわらずサポーターの派遣ができるようにした。

雇用人数：3名

雇用期間：平成23年4月～平成23年7月（2人）、平成23年4月～平成23年8月（1人）

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																										
8目 子育て応援プレミアム金券発行事業費	決算額 169,959,517円																										
1 子育て応援プレミアム金券発行事業費	<p>子育て家庭の経済的支援と地域経済の活性化を目的に、子ども手当受給者に対して、5%のプレミアムをつけた金券（5%のうち、2%を市の負担とし、3%を加盟店負担）を発行した。</p> <p>対象者：子ども手当受給者</p> <p>発行金券：一口10,000円（1,000円券で10枚綴）の金券を9,500円で随時販売 金券の有効期限は、発行日から半年（期限の延長はしない）</p> <p>販売場所：本庁児童課、金谷北支所・金谷南支所・川根支所の地域総合課</p>																										
	年 度	販売枚数 (枚)	販売金額 (円)	延べ利用人数 (人)	回収率 (%)	商店負担額 (円)	市負担額 (円)																				
	23	170,140	161,633,000	3,396	79.9	5,104,200	3,402,800																				
	22	90,650	86,117,500	1,951	68.0	2,719,500	1,813,000																				
2 緊急雇用創出事業	<p>(1) 子育て応援プレミアム金券発行事務補助事業</p> <p>内 容：子育て応援プレミアム金券の販売、換金処理等の事務補助</p> <p>雇用期間・人数：平成23年4月1日から平成24年3月31日まで 2人</p>																										
3項 生活保護費	決算額 448,619,154円																										
1目 生活保護総務費	決算額 37,267,273円																										
1 行旅病人・死亡人等対策事業	<p>(1) 低所得者法外援護</p> <p>生活保護制度に該当しない生活困窮者に支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>件 数(件)</th> <th>金 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>9</td> <td>342,000</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>17</td> <td>510,525</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 行旅病人・死亡人の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>行旅病人(件)</th> <th>行旅死亡人(件)</th> <th>金 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>97,560</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>113,140</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	件 数(件)	金 額(円)	23	9	342,000	22	17	510,525	年 度	行旅病人(件)	行旅死亡人(件)	金 額(円)	23	4	0	97,560	22	3	0	113,140
年 度	件 数(件)	金 額(円)																									
23	9	342,000																									
22	17	510,525																									
年 度	行旅病人(件)	行旅死亡人(件)	金 額(円)																								
23	4	0	97,560																								
22	3	0	113,140																								
2目 扶助費	決算額 411,351,881円																										
1 生活保護扶助費	<p>(1) 生活保護世帯状況</p> <p>減少傾向にあった保護世帯数は、今般の雇用情勢の悪化等により増加に転じている。世帯類型別では、その他世帯の増加が際立っている。</p> <p>生活保護世帯類型別内訳 (単位：世帯)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成23年度末</th> <th>平成22年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者世帯</td> <td>77</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>母子世帯</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>傷病障害者世帯</td> <td>67</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>その他世帯</td> <td>43</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>197</td> <td>181</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	平成23年度末	平成22年度末	高齢者世帯	77	74	母子世帯	10	7	傷病障害者世帯	67	63	その他世帯	43	37	合 計	197	181			
区 分	平成23年度末	平成22年度末																									
高齢者世帯	77	74																									
母子世帯	10	7																									
傷病障害者世帯	67	63																									
その他世帯	43	37																									
合 計	197	181																									



(2) 扶助費別支給状況

医療扶助費が扶助費全体の50%以上を占めている。

区 分	平成23年度		平成22年度	
	支給額(円)	構成率(%)	支給額(円)	構成率(%)
生活扶助費	113,305,761	27.9	93,828,574	26.8
住宅扶助費	48,234,202	11.9	40,880,175	11.7
教育扶助費	2,486,993	0.6	1,531,410	0.4
医療扶助費	205,854,404	50.6	183,578,906	52.5
介護扶助費	7,640,970	1.9	8,620,014	2.5
その他扶助費	2,230,600	0.5	1,245,689	0.3
施設事務費	26,663,331	6.6	20,155,276	5.8
計	406,416,261	100.0	349,840,044	100.0

※その他扶助費は生業扶助費、葬祭扶助費の計

2 中国残留邦人生活支援給付金

平成20年4月1日からの「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律」の施行により科目を新設し、支援給付金を支給している。なお、平成19年度以前は生活保護法に準じ生活保護扶助費に計上していた。

(1) 生活支援給付世帯状況

区 分	平成23年度末	平成22年度末
世帯数	3	3
人 員	5	5

※帰国年 平成10年…2人、平成11年…3人

(2) 生活支援給付扶助費支給状況

区 分	平成23年度		平成22年度	
	支給額(円)	構成率(%)	支給額(円)	構成率(%)
生活扶助費	3,287,080	66.6	3,287,080	50.1
住宅扶助費	613,200	12.4	613,200	9.3
教育扶助費	0	0.0	0	0.0
医療扶助費	1,035,340	21.0	2,659,920	40.6
介護扶助費	0	0.0	0	0.0
その他扶助費	0	0.0	0	0.0

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明				
施設事務費		0	0.0	0	0.0	
計		4,935,620	100.0	6,560,200	100.0	
※ その他扶助費は生業扶助費、葬祭扶助費の計						
4項 医療福祉費		決算額 524,028,385円				
2目 老人保健費		決算額 109,944円				
1 老人療養費						
平成18年度以降分の雑所得の変更による所得更正を行った被保険者について、自己負担割合が3割から1割に変更となったため、自己負担額差額分を支給した。						
対象者数 (人)	年度	診療件数 (件)	自己負担額 (円)			
			3割負担分 ①	1割負担分 ②	差額分支給額 ①-②	
2	18	25	73,350	36,318	37,032	
	19	36	129,681	60,687	68,994	
	20	3	5,877	1,959	3,918	
	計	64	208,908	98,964	109,944	
※各年度は当年3月診療分から翌年2月診療分の一年間。						
※自己負担額は一部負担金から高額療養費を差し引いた実質的な自己負担分の金額。						
※支給額の内、国庫、県負担分及び社会保険診療報酬支払基金負担分は翌年度精算を行う。						
3目 重度心身障害者医療 費助成費		決算額 158,315,026円				
1 重度心身障害者医療扶助費						
心身に重度の障害がある人の療育の推進と経済的負担の軽減を図った。						
対象者 2,138人 (平成24年3月31日現在)						
医療費助成状況						
	平成23年度			平成22年度		
	対象(人)	件数(件)	金額(円)	対象(人)	件数(件)	金額(円)
特別児童扶養手当 1級	4	257	841,927	24	397	1,561,162
特別児童扶養手当 2級	24	441	1,093,089	56	599	1,339,852
療育手帳 A	213	3,537	10,193,965	199	3,149	9,280,515
療育手帳 B	331	3,869	11,874,587	305	3,228	10,297,305
身体障害者手帳 1・2級	1,432	31,610	125,594,527	1,551	30,690	125,330,149
身体障害者手帳 内部障害3級	134	2,114	8,467,331	156	2,266	9,481,908
計	2,138	41,828	158,065,426	2,291	40,329	157,290,891
人工透析通院交通費助成状況						
年 度	対象人数(人)	金 額(円)				
23	3	249,600				
22	4	317,310				

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
4目 こども医療費助成費	決算額 264,957,297円					
1 こども医療扶助費	乳幼児及び中学3年生までの児童の医療費の一部を助成することにより、乳幼児等の健全な育成に寄与し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。					
	こども医療費助成状況					
	年 度	入 院		通 院		合 計
		件数 (件)	金額(円)	件数 (件)	金額(円)	件数 (件) 金額(円)
	23	1,293	64,207,372	165,050	200,749,925	166,343 264,957,297
	22	1,212	55,325,007	164,233	198,104,385	165,445 253,429,392
	増 減	81	8,882,365	817	2,645,540	898 11,527,905
5目 精神障害者医療費助成費	決算額 15,736,655円					
1 精神障害者医療扶助費	精神障害のある人の入院医療費の半額を助成することにより、経済的負担の軽減を図った。 (市単独事業) 対象者数 142人					
	年 度	件 数(件)	金 額(円)			
	23	988	15,736,655			
	22	1,118	18,461,902			
6目 母子家庭等医療費助成費	決算額 19,853,473円					
1 母子家庭等医療扶助費	母子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、母子家庭等の経済的負担の軽減を図った。					
	母子家庭等医療費助成状況					
	年 度	区 分	対象(人) 3月末	件数(件)	金額(円)	
	23	母子家庭	1,020	8,645	19,097,467	
		父子家庭	45	276	673,826	
		上記以外	7	43	82,180	
		計	1,072	8,964	19,853,473	
	22	母子家庭	1,159	7,197	16,041,599	
		父子家庭	43	224	684,468	
		上記以外	11	37	85,980	
		計	1,213	7,458	16,812,047	
5項 災害救助費	決算額 150,000円					
1目 災害救助費	決算額 150,000円					
1 災害援護経費	住居が火災にあった世帯に対し、見舞金を交付した。					
	年 度	全 焼	半 焼	部分焼	死 亡	見舞金交付額
	23	3件	0件	0件	0件	150,000円
	22	0件	0件	0件	0件	0円

## 4 款

# 衛 生 費

1 項 保健衛生費

2 項 清掃費



款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
4 款 衛生費	決算額 3, 5 0 2, 7 5 7, 5 7 9 円
1 項 保健衛生費	決算額 2, 0 0 1, 9 8 0, 7 8 7 円
1 目 保健衛生総務費	決算額 2 2 6, 6 7 9, 5 1 5 円

### 1 救急医療事業

#### (1) 救急医療協力促進事業

一般医療機関の診察が終了した後、志太榛原地域救急医療センターが診療を開始するまでの時間帯（概ね午後5時00分から午後7時00分まで）の医療について、在宅通知制（医師が各自の医療施設で診療にあたる初期救急医療体制）により確保を図った。また、休日急患診療所、休日当直医及び志太榛原地域救急医療センターへの医師派遣により、休日・夜間の初期救急医療の確保を図った。

島 田 地 区：(社)島田市医師会へ委託 (7,078,050円)

金谷・川根地区：(社)榛原医師会へ間接委託 (2,888,819円)

(榛原圏域の構成市町を代表して、牧之原市が(社)榛原医師会と委託契約)

診療件数 (単位：件)

区 分	島田地区 (在宅通知制)		金谷・川根地区 (休日当直医)	
	平成23年度	平成22年度	平成23年度	平成22年度
内科・胃腸科	109	190	243	270
整形外科・外科	300	169	47	68
小 児 科	367	308	99	131
そ の 他	273	232	215	110
計	1,049	899	604	579

#### (2) 志太榛原地域救急医療センター運営費等負担金

志太榛原地域における、第1次救急医療体制の確保を図った。

平成23年度負担金 2,096,000円 (運営費 0/協会負担金2,096,000)

平成22年度負担金 5,397,000円 (運営費 3,823,000/協会負担金1,574,000)

志太榛原地域救急医療センター利用患者数 (単位：人)

区 分	平成23年度	平成22年度
総 利 用 者	7,077	6,352
島田市 (再掲)	1,641	1,265

#### (3) 第2次救急医療施設運営費負担金

志太榛原地域において、重症患者を対象とする第2次救急医療体制の確保を図った。

平成23年度負担金 5,369,514円

平成22年度負担金 4,412,648円

第2次救急医療施設公立病院来院者数 (単位：人)

区 分	平成23年度			平成22年度			
	入院	外来	計	入院	外来	計	
初期 救急 から 転送	救急車	103	53	156	144	50	194
	その他	314	305	619	377	415	792
	計	417	358	775	521	465	986
そ の 他	救急車	940	1,389	2,329	962	1,581	2,543
	その他	1,228	9,374	10,602	1,429	10,039	11,468
	計	2,168	10,763	12,931	2,391	11,620	14,011
合 計	2,585	11,121	13,706	2,912	12,085	14,997	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(4) 休日歯科診療事業

年末年始（島田地区は12月30日～1月3日の5日間、榛原地区は12月31日～1月3日の4日間）の歯科医療機関の休業日に、島田市歯科医師会及び榛原歯科医師会の当番医が当該診療所において午前中診療を行った。

（単位：日、人）

区 分	平成23年度		平成22年度	
	島田地区	榛原地区	島田地区	榛原地区
診療日数	5	4(1)	5	4(1)
患者数	16	31(9)	25	24(11)

※括弧内は、金谷・川根地区での開催日数及び患者数

2 健康づくり事業

(1) 保健委員活動支援事業

市民の健康づくり意識の高揚を図る活動、自己啓発のための研修など、保健委員が行う活動を支援した。

保健委員数：77人 任期：2年

活動内容

（単位：回、人）

分 類	内 容	平成23年度		平成22年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数
全体活動	胸部検診、健康まつり	59	5,953	59	9,340
地区活動	地域健康まつり、親子料理教室、保健講座、健康体操、救急蘇生法講習会等	153	4,720	93	5,826
研修会	自己啓発のための研修	5	216	5	233
その他	町内回覧文書による健康づくり広報活動等	随時		随時	

(2) 健康まつり事業

講演会を開催して、市民の健康づくりに対する意識の高揚を図った。

なお、平成23年度は、おおるりホールにて講演会を行い、保健センターで展示を実施した。

（単位：人）

行 事 名	平成23年度			平成22年度
	実施日	内 容	参加人数	参加人数
健康まつり	H23. 10. 2	生き生き万年青表彰 健康づくり功労表彰 講演会「テレビの健康情報のウソホント」 食生活ジャーナリスト 佐藤 達夫氏 具だくさん島田汁試食 複十字シール募金 展示	450	875
歯の市民フェスティバル	H23. 6. 5	セレモニー、8020コンクール、歯科健診、歯科相談、ブラッシング指導、図画・ポスター作品展、咬合圧測定、顕微鏡細菌観察、フッ素洗口、スーパーボールすくい、紙芝居、手作りおやつの配布	600	900
市民健康ウォーク	H23. 4～ H24. 2	富士山静岡空港ウォーク、棚田ウォーク、谷津山ウォーク、健康まつりウォーク、蒲原由比散策ウォーク、日本平ウォーク、矢倉山ウォーク	502	404

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(3) すこやか戦略推進事業

心と体の健康づくり事業の推進を図るため、市の資源である田代の郷温泉及び川根温泉を活用した健康づくり教室を開催した。平成23年度は田代の郷温泉において、ヨガ・ピラティス等の教室を行い、川根温泉ではウォーキング・水中運動の講座を実施した。

(単位：回、人)

実施場所	平成23年度			平成22年度		
	回数	実人員	延べ人数	回数	実人員	延べ人数
田代の郷温泉	75	59	664	45	101	276
川根温泉	4	23	23	2	25	25

(4) 食育推進事業

「島田市食育推進計画」に基づき、健康づくり食生活推進員及びグループの強化・充実を図るとともに、食育の推進及び生活習慣病の予防等健康づくりに資する食生活の改善、普及啓発活動を行った。

健康づくり食生活推進員：196人 7グループ（平成24年3月31日現在）

活動内容

(単位：回、人)

区 分	平成23年度		平成22年度	
	回数	普及人数	回数	普及人数
母子の健康・貧血予防	249	1,833	211	1,683
生活習慣病予防・健康増進	512	7,332	341	7,711
高齢者の健康・食事の支援 福祉活動	1,050	5,452	995	5,452
重点プロジェクト事業 (H23より生活習慣病予防ワースト25ステップアップ事業へ)	1	26	2	43
計	1,812	14,643	1,549	14,889

3 歯科保健事業

(1) フッ素応用歯科保健普及事業

満4歳の幼児から中学3年生までの児童を対象に市内の園（保育園、幼稚園）、学校（小学校、中学校）、センター（保健福祉センター、公民館等）においてフッ素洗口法を実施するとともに、1歳6か月から4歳未満の幼児を対象にフッ素塗布を実施した。

ア フッ素洗口事業

(単位：ヶ所、人、回)

区 分	平成23年度			平成22年度		
	園	学校	センター	園	学校	センター
実施施設	21	6	4	18	6	4
延べ人数	94,808	16,904	13,968	96,104	22,927	14,191
延べ回数	1,706	184	194	1,644	214	192

イ フッ素塗布事業

(単位：回、人)

区 分	平成23年度	平成22年度
回 数	48	48
延べ人数	3,175	3,180

ウ 歯科健診・相談事業

保健福祉センター、公民館等でフッ素洗口を実施した者に対し、歯科検診を行うとともに、口腔衛生への関心を高める相談事業を実施した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
-------	---------------	--

(単位：回、人)

区 分	平成23年度	平成22年度
回 数	2	2
実施人数	142	150

(2) 訪問歯科診療

寝たきり者等に対し訪問歯科診療を行い、歯（口腔）の状態及び全身の健康状態の改善を図った。

(単位：人、件)

区 分		平成23年度	平成22年度
申 込 者 数	実人員	94	95
	延人員	390	345
診 療 内 容 (重複該当あり)	義 歯		
	調整・修理	61	128
	新製	24	25
	保存充填処置	7	17
	歯周疾患処置(歯石除去等)	5	7
	拔牙等外科処置	8	8
	口腔清掃(ブラッシング指導)	0	1
その他	4	20	

4 防災医療救護施設整備事業

(1) 救護医療セットの更新等

災害時に市内12箇所に設置する救護所の救急医療セットについて、先の東日本大震災の教訓を踏まえ医療セットの見直しを図るとともに、放射能漏事故による健康被害防止のため安定ヨウ素剤の備蓄を行った。

ア 備蓄量

安定ヨウ素剤（丸薬）	125,000丸
粉末ヨウ化カリウム（25gビン）	25本
注射用蒸留水（500ml）	62本
単シロップ（500ml）	60本

5 地域自殺対策緊急強化交付金事業

(1) 自殺対策会議

会議：2回開催（9月、2月）

委員：島田市医師会医師、島田薬剤師会、民生委員児童委員協議会、学識経験者、島田市商工会、福祉課、市民安全課、学校教育課、健康づくり課

〈オブザーバー〉 静岡県精神保健福祉センター（第1回目のみ）

(2) 普及啓発事業

啓発グッズを作成し、イベントや市民が利用する様々な窓口で啓発グッズを配布することで「睡眠キャンペーン」「うつ自殺予防」の周知を図った。また、保健委員や一般市民を対象とした研修会を各1回実施した。その他のぼり旗を9月の自殺予防週間に保健福祉センター正面駐車場に設置し、広報紙にうつ予防に関係した記事を掲載し普及啓発活動を実施した。

ア 作成数 (単位：個)

	平成23年度	平成22年度
作成数	6,500	2,000

イ 配布場所

出張相談、健康教育、婦人科検診、成人式、市役所・保健福祉センター窓口、幼児健診、市内イベントなど様々な機会に配布した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明														
(3) 対面型相談支援事業	ハローワークにおいて健康相談とこころの相談を実施した。：2回														
(4) 人材養成事業	相談に関わる職員を対象にゲートキーパーの内容を含む人材養成研修を実施した。：1回														
6 緊急雇用創出事業【平成23年度新規事業】	乳幼児心理相談事業 乳幼児の健全発達のため、保護者や子どもへの心理相談業務を行う相談員を配置し、育児相談の充実を図った。 実施期間 平成23年4月から平成24年3月まで 雇用人数 1人														
7 東日本大震災現地支援事業【平成23年度新規事業】	岩手県山田町に保健師を派遣したことによる経費														
	事業内容		期間		人数										
	県からの依頼による公衆衛生チームの一員		平成23年4月23日～27日		1人										
			平成23年5月14日～18日		1人										
	山田町からの地方自治法による長期派遣依頼への派遣		平成23年6月29日～9月1日		1人										
2目 母子保健衛生費	決算額		81,264,558円												
1 母子健康診査事業	(1) 妊婦健康診査事業														
	妊婦の健康保持を図るため、医療機関への委託により健康診査を行った。 平成21年度から妊婦健康診査は14回に増え、超音波健診は4回、血液検査は1回にそれぞれ拡充された。 (単位：枚、人)														
区 分	平成23年度														
回 数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	
受診券交付数	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811	
受診人数	821	758	765	770	743	759	724	737	705	711	704	628	488	275	
受診率	101.2	93.5	94.3	94.9	91.6	93.6	89.3	90.9	86.9	87.7	86.8	77.4	60.2	33.9	
※平成23年度1回目の受診率が100%を超えているのは、平成22年度に受診券を交付された人が23年度に受診したためである。															
区 分	平成22年度														
回 数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	
受診券交付数	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	
受診人数	776	738	771	779	753	798	774	796	763	734	739	634	463	260	
受診率	95.6	90.9	95.0	95.9	92.7	98.3	95.3	98.0	94.0	90.4	91.0	78.1	57.0	32.0	
(2) 乳児健康診査指導事業	ア 4か月児及び10か月児健康診査 (単位：人、%)														
区 分	平成23年度		平成22年度												
	4か月児健康診査	10か月児健康診査	4か月児健康診査	10か月児健康診査											
対象児数	788	849	809	800											
受診児数	796	807	808	738											
受診率	101.0	95.1	99.9	92.3											

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

※平成23年度4か月児健康診査の受診率が100%を超えているのは、平成22年度未受診者が平成23年度に受診したためである。

イ 母子保健相談指導事業

疾病予防・しつけ等の全般的育児支援や育児不安の軽減などの精神的な支援を行い、母子の健康の保持と健全な発達・発育の支援に努めた。

(ア) 赤ちゃん訪問 (単位：人)

区 分	平成23年度	平成22年度
訪問対象者	797	833
訪問人数	793	809
訪問実施率	99.5%	97.1%

(イ) 離乳食講習会 (単位：人)

区 分	平成23年度	平成22年度
参加人数	405	422

(ウ) 7か月児相談 (年：24回実施) (単位：人、%)

区 分	平成23年度	平成22年度
対象者数	801	832
受診者数	799	826
受診率	99.8	99.3

※離乳食相談も同時に実施した。

(3) 幼児健康診査事業

健康診査や育児指導を実施して、幼児の健康保持・増進と障害を持つ幼児の早期発見に努めるなど、育児支援の充実を図った。

幼児健康診査・歯科健診 (単位：人、%)

区 分	平成23年度		平成22年度		
	1歳6か月児	3歳児	1歳6か月児	3歳児	
対象児数	842	863	814	934	
受診児数	837	866	801	901	
受診率	99.4	100.4	98.4	96.5	
健診結果	正常範囲	346	469	400	512
	身体要注意	129	177	130	183
	発達要注意	362	220	271	206
	う歯のある者	12	142	10	138
	咬合異常	30	73	29	80

※平成23年度3歳児健康診査の受診率が100%を超えているのは、平成22年度未受診者が平成23年度に受診したためである。

2 育児支援事業

(1) 育児支援事業

妊娠中から疾病予防、しつけ等の全般的な指導を行うことにより、母子の健康の保持と健全な発達・発育の支援に努めた。

(単位：回、人)

区 分	平成23年度		平成22年度	
	回数	延べ参加者数	回数	延べ参加者数
いきいきママ教室	16	386	16	377

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																											
(2) 乳幼児健全発達支援相談指導事業	<p>精神・運動面や、養育環境に問題がある乳幼児の発達支援を図る療育教室や、育児ストレスを抱えている母親（保護者）の不安を軽減する虐待予防教室を実施した。つくしんぼ（親子学習会）は対象者の増加により、平成22年度から2グループに分け各グループ隔週実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(単位：回、人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成22年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>延べ出席人数</th> <th>回数</th> <th>延べ出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つくしんぼ(親子学習会)</td> <td>43</td> <td>625</td> <td>42</td> <td>645</td> </tr> <tr> <td>いきいきっ子教室</td> <td>12</td> <td>142</td> <td>12</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>のびのびっ子教室</td> <td>11</td> <td>122</td> <td>12</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	平成23年度		平成22年度		回数	延べ出席人数	回数	延べ出席人数	つくしんぼ(親子学習会)	43	625	42	645	いきいきっ子教室	12	142	12	113	のびのびっ子教室	11	122	12	132
区 分	平成23年度		平成22年度																									
	回数	延べ出席人数	回数	延べ出席人数																								
つくしんぼ(親子学習会)	43	625	42	645																								
いきいきっ子教室	12	142	12	113																								
のびのびっ子教室	11	122	12	132																								
3目 感染症予防費	決算額	229,100,150円																										
1 予防接種事業																												
(1) 集団接種事業・個別接種事業	<p>伝染のおそれがある疾病の発生とまん延を予防するため、予防接種を行った。</p> <p>日本脳炎予防接種は副反応により平成17年6月以降積極的勧奨を休止していたが、平成21年6月から希望者は新ワクチンによる接種が可能になり、平成22年度は3・4歳児に限って積極的勧奨を再開した。23年5月20日から平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれの方に接種回数不足分の接種が可能となり、ワクチンの供給量も踏まえつつ、国の指針に沿って、積極的な勧奨を実施していく。23年度は9歳、10歳に達する子どもに積極的勧奨を実施した。</p> <p>MR混合予防接種は、平成20年4月から5年間時限措置で対象者を拡大している。</p>																											
ア 集団接種	(単位：人、%)																											
	区 分	年 度	対象者数	実施者数	実施率																							
ポリオ		23	1,719	1,547	90.0																							
		22	1,572	1,610	102.4																							
イ 個別接種	(単位：人、%)																											
	区 分	年 度	対象者数	実施者数	実施率																							
BCG		23	817	814	99.6																							
		22	833	837	100.5																							
三種混合		23	3,394	3,419	100.7																							
		22	3,268	3,383	103.5																							
二種混合（1期）		23	—	1	—																							
		22	—	3	—																							
二種混合		23	927	871	94.0																							
		22	991	923	93.1																							
麻しん単独		23	—	0	—																							
		22	—	0	—																							
風しん単独		23	—	0	—																							
		22	—	0	—																							
MR（麻しん・風しん）混合		23	3,715	3,959	106.6																							
		22	3,731	3,585	96.1																							
日本脳炎1期初回（2回完了者）		23	2,763	2,081	75.3																							
		22	1,784	1,577	88.4																							
日本脳炎1期追加		23	1,789	1,359	76.0																							
		22	—	(135)	—																							

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

日本脳炎 2期	23	—	(132)	—
	22	—	(54)	—
インフルエンザ	23	26,107	13,946	53.4
	22	25,960	14,059	54.2

\* 日本脳炎の平成22年度 1期追加と 2期は積極的勧奨対象ではないため、対象者は未記入

\* BCGは22年度までは集団接種、23年度から個別接種で実施

(2) 任意予防接種【平成23年度新規事業】

区 分	年 度	対象者数	実人員	延実施者数	実施率
子宮頸がんワクチン	23	1,906	886	1,750	46.5
ヒブワクチン	23	4,080	853	1,469	20.9
小児用肺炎球菌	23	4,080	819	1,496	20.1

\* 平成23年4月から任意の3ワクチンに対して一部助成を開始している。

(3) 新型インフルエンザ(A/H1N1)対策事業

新型インフルエンザ対策備蓄品

強毒性インフルエンザ対策として、N95マスク・サージカルマスク・防護服・手袋・消毒薬等の備蓄をしている。

平成23年度はインフルエンザの感染防止のため感染予防を呼びかけ、市内の学校・幼稚園・保育園及び公共施設へサージカルマスクを配付した。

備蓄品

(単位：枚、個)

区 分	22年度末在庫数	配布数	在庫数	備 考
N95マスク	25,800	0	25,800	病院・消防署・一般職員用 2週間分
サージカルマスク	287,156	103,406	183,750	大人用 179,900枚 子供用 3,850枚 (病院・消防署・一般職員用 2週間分含む)
防護服	7,673	0	7,673	病院・消防署・一般職員用 2週間分
アイソレーションガウン	5,600	0	5,600	
ゴーグル	4,445	0	4,445	
シューズカバー	16,000	0	16,000	
手袋	560,000	0	560,000	
ペーパータオル	1,500	0	1,500	
消毒薬	5,674	0	5,674	
石鹸	200	0	200	

4目 保健推進費

決算額

113,736,237円

1 生活習慣病対策事業

(1) 健康推進事業

ア 健康手帳交付事業

市民の健康に関する自己管理意識を高めるため、検診結果等の健康保持に必要な事項を記録する健康手帳を交付した。

(単位：冊)

区 分	平成23年度	平成22年度
後期高齢者医療対象者への交付	121	192
上記以外への交付	343	1,242

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

イ 健康教育事業

「自らの健康は自ら守る」という自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進に資するため、生活習慣病予防・健康増進等健康に対する正しい知識の普及を図った。

(単位：回、人)

区 分	平成23年度		平成22年度	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数
健康増進重点プロジェクト事業	—	—	2	43
生活習慣病ワースト25ステップアップ事業	1	26	—	—
ヘルシー料理教室	8	155	8	155
歯科保健講座	10	182	17	221
町内別健康講座	44	1,636	5	130
その他	57	2,655	47	1,848
計	120	4,654	79	2,397

ウ 健康相談事業

健康相談により、疾病予防及び健康増進を図った。

(単位：回、人)

区 分	平成23年度		平成22年度		
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	
健康の日健康相談	島田	12	295	12	415
	金谷	12	3	12	48
	川根	12	1	12	53
総合健康相談	244	3,584	243	2,285	
食生活相談	177	901	135	178	
その他の健康相談	39	4,029	18	1,287	
計	496	8,813	432	4,266	

(2) 機能回復室開放

保健福祉センターの機能回復室を開放し、病気やけが、老化等で体の機能が低下した人が自主的に運動器具で運動できる日を毎週水曜日の午後に設けた。

(単位：回、人)

年 度	回数	参加実人数	延べ人数
23	39	27	792
22	47	31	689

(3) 訪問指導事業

保健師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士等が、メタボリックシンドロームや高齢で寝たきり又はそのおそれのある市民を対象に、日常生活指導、栄養指導、口腔の指導を行い、生活習慣病予防や生活の質（QOL）の向上に努めた。

(単位：人)

区 分		平成23年度	平成22年度
訪問 人数	実人数	43	51
	延べ人数	50	76
口腔衛生指導		10	23
栄養指導		11	16

(4) 健康増進法等の健康診査事業

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

がん・歯周疾患・C型肝炎等の疾病の早期発見のため、健康増進法に定められた各健康診査等を実施した。

ア がん検診

40歳以上の人を対象に胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、30歳以上で平成22年度未受診の女性を対象に乳がん検診（視触診とマンモグラフィ併用）、20歳以上の女性を対象に子宮頸がん検診、50歳以上の男性を対象に前立腺がん検診を実施した。

（単位：人、％）

種 別	実施年度	推計対象者数	受診者数	うち、2年連続の受診者数	受診率
乳がん検診 (30歳以上)	23	19,660	4,034	288	37.8
	22		3,677	545	34.3
子宮頸がん検診	23	21,117	5,414	—	25.6
	22		5,097	—	24.1
胃がん検診	23	28,112	4,951	—	17.6
	22		4,130	—	14.7
肺がん検診	23	28,112	10,340	—	36.8
	22		12,449	—	44.3
大腸がん検診	23	28,112	8,699	—	30.9
	22		6,811	—	24.2
前立腺がん検診	23	10,128	2,823	—	27.9
	22		2,560	—	25.3

※乳がん検診は2年に1回の実施であるため、直近2年間の実受診者数により受診率を算出する。

イ がん検診精密検査（二次検診）受診勧奨

平成22年度中に実施した胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診などの精密検査について継続した受診勧奨を行い、精密検査受診率向上を図った。

（単位：人）

健康増進法 がん検診 種別	精検受診勧 奨実施年度	一次検診			翌年度末までに実施した精密検査（二次検診）の結果					
		実施 年度	受診 者数	精密検査 対象者数	異常を 認めず	がん	異形成	がんの 疑い	がん以外 の疾患	未受診 未把握
乳がん	23	22	3,677	194	56	5	—	7	95	31
	22	21	3,148	189	76	7	—	8	92	6
子宮頸がん	23	22	5,097	44	5	4	20	0	14	1
	22	21	4,878	36	2	2	24	0	3	5
胃がん	23	22	4,130	137	13	2	—	1	94	27
	22	21	4,110	186	19	5	—	0	136	26
肺がん	23	22	12,449	295	54	5	—	9	190	37
	22	21	12,748	258	61	6	—	13	162	16
大腸がん	23	22	6,811	656	107	16	—	20	331	182
	22	21	6,664	443	82	14	—	12	217	118

ウ 歯周疾患検診事業

歯周疾患の早期発見、早期治療及び予防意識の高揚を目的に、40歳・50歳・60歳・70歳の市民を対象に歯周疾患検診を実施した。

（単位：人、％）

年度	対象者数	受診者数	受診率	異常なし	要指導	要精検
23	5,578	77	1.3	69	3	5
22	4,158	257	6.2	8	21	228

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

エ 骨粗鬆症<sup>しょう</sup>検診事業

骨粗鬆症の早期発見、予防意識の高揚を目的に、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施した。(単位：人、%)

年度	対象者数	受診者数	受診率	異常なし	要指導	要精検
23	4,904	467	9.5	344	76	47
22	4,904	339	6.9	261	51	27

オ 肝炎ウイルス検診事業

40歳の人、41歳以上の未受診者または肝機能に異常がある人を対象に肝炎ウイルス検診を実施した。

(ア) C型肝炎ウイルス検診 (単位：人、%)

年度	対象者数	受診者数	受診率	検査結果別人数					要精検者数	精密検査の結果					
				高力価(陽性)	中力価		低力価(陰性)	陰性		異常認めず	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	その他	未把握
					陽性	陰性									
23	5,990	2,670	44.6	4	0	1	19	2,646	4	0	1	0	0	0	3
22	1,348	260	19.3	0	0	0	1	259	0	—	—	—	—	—	—

(イ) B型肝炎ウイルス検診 (単位：人、%)

年度	対象者数	受診者数	受診率	検査結果別人数			要精検者数	精密検査の結果					
				陽性	陰性	判定不能		異常認めず	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	その他	未把握
23	5,990	2,670	44.6	9	2,660	1	9	0	2	0	0	3	4
22	1,348	260	19.3	1	259	0	1	0	0	0	0	0	1

2 女性特有のがん検診推進事業

(1) 女性特有のがん検診推進事業

健康増進法に定められたがん検診のうち、特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸(けい)がん及び乳がんの知識啓発のための検診手帳を送付し、女性特有のがん検診受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図った(国庫補助対象事業)。

ア 子宮頸がん検診(単位：人)

年度	区分	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	合計
23	配布対象者数	526	505	540	621	703	2,895
	受診者数	28	45	73	164	176	486
22	配布対象者数	546	534	599	687	648	3,014
	受診者数	24	62	118	189	173	566

イ 乳がん検診(単位：人)

年度	区分	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	合計
23	配布対象者数	703	581	643	676	786	3,389
	受診者数	181	159	132	176	192	840

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明					
-------	--	---------------	--	--	--	--	--

22	配布対象者数	648	648	624	693	933	3,546
	受診者数	160	173	138	182	211	864

(2) 働く世帯への大腸がん検診推進事業【平成23年度新規事業】

健康増進法に定められたがん検診のうち、特定の年齢に達した男女に対して、大腸がんの知識啓発のための検診手帳を送付し、大腸がん検診受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図った(国庫補助対象事業)。

ア 大腸がん検診(単位：人)

区分	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	合計
配布対象者数	1,394	1,213	1,287	1,404	1,605	6,903
受診者数	145	132	132	162	288	859

5目 環境衛生費

決算額

214,139,598円

1 環境保全事業

(1) 河川等清掃事業

市内一斉川ざらいは、住民参加の環境美化活動として、町内会が主体となり各町内会で作業できる範囲の河川、水路、側溝等を清掃し、市はこうした清掃により発生した土砂の運搬に関する事等について支援した。事業も継続し実施しているため、住民の自主的な取組による清潔で住み良い環境の保全及び公衆衛生の向上が図られ、「我が地域は我が手で住み良い環境にする」という住民の姿勢、意識が定着している。

地区	実施日	実施町内及び参加者	市指定土のう袋置場箇所数	町内指定土のう袋置場箇所数	最終処分場土砂搬入量
島田地区	平成23年4月16、17日	各町内会と事業所 市民 約20,000人	7か所 (大井川河川敷) 75町内と事業所 が搬入	100か所 (25町内)	約659t
金谷地区	平成23年4月17日				
川根地区	平成23年5月29日				

(2) 合併処理浄化槽設置補助金

生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する者に対し、補助金を交付した。また、くらしのフェア等において合併処理浄化槽の維持管理の方法や生活排水の現状など、生活排水処理についてのPRを行った。

年度	5人槽(件)	7人槽(件)	10人槽(件)	計(件)	金額(円)	
23	194 (5)	125 (12)	25 (0)	344 (17)	補助金交付額 116,556,000	
					(財源内訳) 国 37,976,000	
					県 16,662,000	
				市 61,918,000		
22	229 (3)	145 (12)	34 (1)	408 (16)	補助金交付額 137,922,000	
					(財源内訳) 国 44,709,000	
					県 19,476,000	
				市 73,737,000		
増減	△35 (2)	△20 (0)	△9 (△1)	△64 (1)	補助金交付額 △21,366,000	
					(財源内訳) 国 △6,733,000	
					県 △2,814,000	
				市 △11,819,000		

※括弧内は内数で、単独浄化槽から合併浄化槽への付替え基数

2 家庭動物飼育指導事業

(1) 家庭動物飼育指導事業

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																					
ア 飼い犬適正飼育 狂犬病予防法の規定に基づき、犬の登録と狂犬病予防注射済票交付事務を行った。 (ア) 犬の新規登録と狂犬病注射済票交付件数 <table border="1" data-bbox="193 304 746 495"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事務内容</th> <th>件数(匹)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">23</td> <td>新規登録</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>注射済票交付</td> <td>4,787</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">22</td> <td>新規登録</td> <td>428</td> </tr> <tr> <td>注射済票交付</td> <td>5,190</td> </tr> </tbody> </table> (イ) 犬の登録件数 <table border="1" data-bbox="193 573 539 696"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録件数(匹)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>5,982</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>6,179</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事務内容	件数(匹)	23	新規登録	377	注射済票交付	4,787	22	新規登録	428	注射済票交付	5,190	年度	登録件数(匹)	23	5,982	22	6,179			
年度	事務内容	件数(匹)																				
23	新規登録	377																				
	注射済票交付	4,787																				
22	新規登録	428																				
	注射済票交付	5,190																				
年度	登録件数(匹)																					
23	5,982																					
22	6,179																					
イ 飼いねこ適性飼育 飼いねこ生殖機能処置に要する経費に対して、補助金交付事務を行った。 (ア) 避妊去勢に対する補助金件数 <table border="1" data-bbox="193 853 488 972"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数(匹)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>337</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> (イ) ねこの登録件数 <table border="1" data-bbox="193 1050 1061 1167"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録件数 (匹)</th> <th>死亡届 (匹)</th> <th>年度末登録件数(匹)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>413</td> <td>90</td> <td>6,445</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>412</td> <td>73</td> <td>6,122</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数(匹)	23	337	22	300	年度	登録件数 (匹)	死亡届 (匹)	年度末登録件数(匹)	23	413	90	6,445	22	412	73	6,122				
年度	件数(匹)																					
23	337																					
22	300																					
年度	登録件数 (匹)	死亡届 (匹)	年度末登録件数(匹)																			
23	413	90	6,445																			
22	412	73	6,122																			
ウ 家庭動物適正飼育の推進 犬・ねこのふん、放し飼い、鳴き声などの苦情を減らすため、飼い主に適正な飼い方を指導する動物ボランティア事業を実施した。 また、家庭で飼育している動物を譲りたい人と新しく飼いたい人との情報をつなぐ動物愛護の伝言板「ポッチとニャンチの愛の伝言板」により犬・ねこの新しい飼い主を募った。 (ア) 動物ボランティア <table border="1" data-bbox="193 1435 1473 1917"> <thead> <tr> <th>会員数</th> <th>活 動 内 容</th> <th>実 施 日 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">16人</td> <td>犬・ねこ飼育立入調査</td> <td>9月29日(御飯屋町) 11月15日(旭一丁目、旭二丁目)</td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブで動物愛護教室</td> <td>10月3日、10月12日、10月19日、10月26日、 11月17日、11月28日</td> </tr> <tr> <td>動物ボランティア研修会(福島第一原発警戒区域内での救護活動について・静岡県の被災動物救護計画について)</td> <td>1月26日</td> </tr> <tr> <td>FM島田放送出演(犬ねこ適正飼育の呼び掛け)</td> <td>12月8日</td> </tr> <tr> <td>島田市産業祭参加(パネル展、獣医師よろず相談、犬のショータイム、募金活動、ねこ譲渡会、犬・猫適正飼育ちらし配布)</td> <td>11月13日</td> </tr> <tr> <td>定例会(事業打合せ、情報交換)</td> <td>4月24日、7月21日、11月29日、2月28日</td> </tr> </tbody> </table>	会員数	活 動 内 容	実 施 日 等	16人	犬・ねこ飼育立入調査	9月29日(御飯屋町) 11月15日(旭一丁目、旭二丁目)	放課後児童クラブで動物愛護教室	10月3日、10月12日、10月19日、10月26日、 11月17日、11月28日	動物ボランティア研修会(福島第一原発警戒区域内での救護活動について・静岡県の被災動物救護計画について)	1月26日	FM島田放送出演(犬ねこ適正飼育の呼び掛け)	12月8日	島田市産業祭参加(パネル展、獣医師よろず相談、犬のショータイム、募金活動、ねこ譲渡会、犬・猫適正飼育ちらし配布)	11月13日	定例会(事業打合せ、情報交換)	4月24日、7月21日、11月29日、2月28日						
会員数	活 動 内 容	実 施 日 等																				
16人	犬・ねこ飼育立入調査	9月29日(御飯屋町) 11月15日(旭一丁目、旭二丁目)																				
	放課後児童クラブで動物愛護教室	10月3日、10月12日、10月19日、10月26日、 11月17日、11月28日																				
	動物ボランティア研修会(福島第一原発警戒区域内での救護活動について・静岡県の被災動物救護計画について)	1月26日																				
	FM島田放送出演(犬ねこ適正飼育の呼び掛け)	12月8日																				
	島田市産業祭参加(パネル展、獣医師よろず相談、犬のショータイム、募金活動、ねこ譲渡会、犬・猫適正飼育ちらし配布)	11月13日																				
	定例会(事業打合せ、情報交換)	4月24日、7月21日、11月29日、2月28日																				

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明								
(イ) 動物愛護の伝言板										
設置日		設置場所			平成23年度伝言板利用状況					
平成16年11月10日		市役所 1階ロビー			犬 申込数 10匹・成立数 0匹		ねこ 申込数 19匹・成立数 3匹			
3 市営霊園整備事業費										
田代霊園の建設に伴う建設工事費及び建設工事監理業務委託費。										
事業名		事業費 (円)			委託先					
市営霊園建設工事		78,225,000			株式会社小沢組					
建設工事監理業務委託		2,835,000			大鐘測量設計株式会社					
6目 斎場費				決算額		84,222,852円				
1 斎場管理運営事業										
(1) 火葬炉等使用件数										(単位：件)
年度	区 分	市 内			市 外			計		
		島田斎場	金谷斎場	合計	島田斎場	金谷斎場	合計	島田斎場	金谷斎場	合計
23	火葬炉	861	235	1,096	23	6	29	884	241	1,125
	特殊炉	896	0	896	199	0	199	1,095	0	1,095
	待合室	363	—	363	16	5	21	379	5	384
	計	2,120	235	2,355	238	11	249	2,358	246	2,604
22	火葬炉	864	206	1,070	37	7	44	901	213	1,114
	特殊炉	853	0	853	204	0	204	1,057	0	1,057
	待合室	395	—	395	41	5	46	436	5	441
	計	2,112	206	2,318	282	12	294	2,394	218	2,612
(2) 告別式										(単位：件)
年度	市 内	市 外	計							
23	89	0	89							
22	100	2	102							
(3) 火葬炉等使用料										(単位：円)
年度	区 分	市 内			市 外					
		島田斎場	金谷斎場	合計	島田斎場	金谷斎場	合計			
23	火葬炉	—	—	—	540,000	150,000	690,000			
	特殊炉	2,709,000	—	2,709,000	1,566,130	—	1,566,130			
	待合室	1,143,450	—	1,143,450	168,000	52,500	220,500			
	計	3,852,450	—	3,852,450	2,274,130	202,500	2,476,630			
22	火葬炉	—	—	—	1,080,000	180,000	1,260,000			
	特殊炉	2,568,300	—	2,568,300	1,605,480	—	1,605,480			
	待合室	1,244,250	—	1,244,250	430,500	52,500	483,000			
	計	3,812,550	—	3,812,550	3,115,980	232,500	3,348,480			
年度	区 分	市内・市外 合計								
		島田斎場	金谷斎場	合計						
23	火葬炉	540,000	150,000	690,000						
	特殊炉	4,275,130	—	4,275,130						
	待合室	1,311,450	52,500	1,363,950						
	計	6,126,580	202,500	6,329,080						

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

22	火葬炉	1,080,000	180,000	1,260,000
	特殊炉	4,173,780	-	4,173,780
	待合室	1,674,750	52,500	1,727,250
	計	6,928,530	232,500	7,161,030

(4) 斎場修繕工事

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
島田市斎場 台車ブロック交換及び主燃炉N煉瓦修繕工事	台車ブロック交換(1号炉～3号炉)及び主燃炉N煉瓦(1号炉～3号炉)修繕	2,467,500 (財源内訳) 一般財源 2,467,500	需用費 2,467,500 (株)宮本工業所
島田市斎場 再燃炉後絞り及びチェッカー、マンホール蓋修繕工事	再燃炉後絞り及びチェッカー(1号炉、汚物炉)再燃炉マンホール蓋(3号炉)修繕	651,000 (財源内訳) 一般財源 651,000	需用費 651,000 (株)宮本工業所
島田市金谷斎場 主燃炉N煉瓦修繕工事	主燃炉N煉瓦(1号炉、2号炉)修繕	1,113,000 (財源内訳) 一般財源 1,113,000	需用費 1,113,000 (株)宮本工業所

2 地域活性化・きめ細かな交付金事業(繰越明許)

島田市斎場及び島田市金谷斎場の施設は経年劣化により雨漏りが発生したため、火葬業務に支障をきたさないよう防水工事を実施した。

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費	備考
島田市斎場改修工事	(繰越明許) 火葬棟屋上防水改修工事、スチール扉改修工事	15,148,350 (財源内訳)	工事請負費 15,148,350 大河原建設(株)
	待合棟外壁クラック補修工事、屋上防水工事、トイレ内衛生陶器改修工事	国庫支出金 15,147,350	
	渡り廊下屋根防水改修工事	一般財源 1,000	
	歩廊屋根防水改修工事		
島田市金谷斎場改修工事	(繰越明許) 外壁防水改修工事、外壁等塗装工事、屋根防水保護塗装工事	3,798,900 (財源内訳)	工事請負費 3,798,900 (株)尾坂工務店
		国庫支出金 3,798,650	
		一般財源 250	

7目 簡易水道費	決算額	38,700,000円
1 簡易水道事業特別会計繰出金	38,700,000円	
簡易水道事業特別会計の資金不足を補填するため、繰出しを行った。		
8目 休日急患診療費	決算額	0円
1 休日急患診療事業特別会計繰出金		
(1) 休日急患診療事業特別会計繰出金	0円	
9目 水道費	決算額	52,533,688円
1 水道未普及地域解消事業	1,342,900円	
(1) 飲料水供給施設整備事業	994,000円	



款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
2項 清掃費	決算額	1, 500, 776, 792円
2目 塵芥処理費	決算額	263, 959, 195円

1 ごみ減量事業

収集業務の一部を民間委託し、経費削減を図り、リサイクル可能なごみは適正に処理した。

(1) 収集業務委託状況

事業名	事業概要	事業費		委託先
		年度	金額(円)	
島田地区資源類収集運搬業務	資源の収集運搬、コンテナ集配、資源回収ネット配布	23	44,940,000	(株)アスク長谷川
		22	45,150,000	静岡県大井川地区自動車運送事業協同組合
島田地区古紙収集運搬業務	古紙類収集運搬	23	18,795,000	島田市古紙収集運搬業務共同体
		22	18,585,000	島田市古紙収集運搬業務共同体
金谷地区一般廃棄物及び資源類収集運搬業務	県道島田金谷線南側	23	47,250,000	(有)鈴木清掃
		22	48,300,000	(有)鈴木清掃
	県道島田金谷線北側	23	49,875,000	(有)池原商会
		22	50,925,000	(有)池原商会

(2) 処理業務委託状況

※( )はkg単価

事業名	事業の概要	事業費		委託先
		年度	金額(円)	
資源類処理業務	資源の選別、梱包、異物除去、コンテナ洗浄等	23	24,150,000	牧ノ原やまばと学園
		22	24,213,000	牧ノ原やまばと学園
陶磁器及びガラス屑処理業務	自然砂の代用品への再生	23	7,140,228(21.0)	トーエイ(株)
		22	7,359,198(22.0)	トーエイ(株)
不燃ごみ処理業務	燃えないごみ(鉄くず)の選別、処理等	23	10,090,500	桜井資源(株)
		22	10,248,000	桜井資源(株)

(3) 容器包装リサイクル状況

ア ペットボトル

年度	出荷量(kg)	市負担率(%)	再商品化費用(円)	再商品化業者
23	211,390	0	0	(株)エコリング
22	223,690	0	0	(株)エコリング

イ 白色トレイ

年度	出荷量(kg)	市負担率(%)	再商品化費用(円)	再商品化業者
23	18,340	1	9,568	(株)エフピコ
22	19,515	3	31,174	(株)エフピコ

ウ その他色びん

年度	出荷量(kg)	市負担率(%)	再商品化費用(円)	再商品化業者
23	113,120	10	100,675	丸硝(株)
22	131,580	13	162,497	丸硝(株)

エ 有償入札拠出金及び再商品化拠出金による収入

年度	前年度対象再商品化量(kg)		拠出金(円)	委託先
	ペットボトル	白色トレイ		
23	211,390	18,340	11,099,444	(公財)日本容器包装リサイクル協会
22	223,690	19,515	7,142,291	(公財)日本容器包装リサイクル協会

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(4) 収集実績

区分			収集量(t)	
			23年度	22年度
燃えるごみ	市の収集	燃えるごみ	22,079	21,862
		一般持込	6,309	6,186
	燃えないごみ	市の収集	696	827
		一般持込	17	34
計			29,101	28,909
資源	カレット		737	789
	古紙		1,997	2,145
	ペットボトル		211	224
	白色トレイ		18	20
	紙パック		31	33
	陶磁器ガラス屑		324	319
	乾電池		37	37
	蛍光灯		15	15
	食用油		5	6
	ペットボトルキャップ		3	2
	計			3,378

(5) 資源化促進事業

行政による資源化だけでなく、市民の自主的な資源化を推進した。

ア 古紙等資源集団回収奨励金

交付額 古紙及び牛乳パック 4円/kg、アルミ缶 5円/kg

区分	平成23年度	平成22年度	回収実績	区分	平成23年度	平成22年度
登録団体数	137	130		古紙(kg)	2,263,823	2,383,497
述べ実施団体数	733	699		牛乳パック(kg)	1,049	1,460
奨励金交付額(円)	9,420,032	9,929,458		アルミ缶(kg)	72,109	77,926
				計(kg)	2,336,981	2,462,883

イ ごみ減量資源化推進事業奨励金

交付額 新聞紙 2円/kg、ダンボール1.5円/kg、雑誌・雑紙 1円/kg

年度	資源化量(kg)	奨励金交付額(円)
23	1,958,773	3,113,937
22	2,156,912	3,448,374

ウ 生ごみ処理容器等購入費補助金

交付額 コンポスト・ボカシ購入費の1/2 (3,000円以内)、生ごみ処理機購入費の1/3 (30,000円以内)

年度	生ごみ処理機		コンポスト		ボカシ		合計	
	台数	金額(円)	台数	金額(円)	台数	金額(円)	台数	金額(円)
23	28	618,100	2	4,300	0	0	30	622,400
22	30	714,600	3	7,800	0	0	33	722,400

2 東日本大震災現地支援事業【平成23年度新規事業】

廃車予定であった塵芥収集車(1台)を車検整備し、東日本大震災災害廃棄物の処理等のために塵芥収集車が不足している福島県南相馬市に寄贈した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
3目 一般廃棄物最終処分場運営費	決算額 30,170,591円

1 処分場等管理運営事業

(1) 一般廃棄物最終処分場では、一般搬入のがれき類、田代環境プラザ及びクリーンセンターの処理灰の埋め立て処理を行った。

また、処分場の延命を図るため、平成10年から平成14年8月までに埋立処理したホットバインドを掘り起こし田代環境プラザにて溶融減容処理している。

水処理施設では、放流水の適正な水質管理を目的に機器の修繕等を実施した。

ア ごみ埋立量実績 (単位：m<sup>3</sup>)

年度	がれき	処理灰	排出土砂	覆土	合計
23	380	1,887	581	1,344	4,192
22	473	1,694	527	1,320	4,014

イ 掘り起こし実績 (単位：m<sup>3</sup>)

年度	掘り起こし量	残(予定)
23	3,497	10,765
22	2,222	14,260

※掘り起こし予定量は28,000m<sup>3</sup>

ウ 水処理施設の修繕 (単位：円)

年度	修繕箇所	金額
23	計装設備取替(第3調整槽攪拌装置)	777,000
	計装設備取替(薬注ユニット)	378,000
	計装設備取替(No.2汚泥引抜ポンプ)	97,965
	計装設備取替(第3調整槽攪拌装置ブレーカー)	50,400
22	2号回転円板修繕	13,052,550
	ろ過装置バタフライ弁取替	772,800
	汚泥移送ポンプ取替	945,000
	2号逆洗ポンプ取替	235,200
	2号計量ポンプ取替	147,000
	第1調整槽2号攪拌ポンプ取替	157,500

エ 各種検査の実績回数

- (ア) 放流水・周辺地下水(2箇所)の一般項目：12回/年
- (イ) 放流水の特殊項目：2回/年 周辺地下水(2箇所)の特殊項目：1回/年
- (ウ) 処分場原水の一般項目：3回/年
- (エ) 放流水・周辺地下水(2箇所)・処分場原水のダイオキシン類：1回/年
- (オ) 放流水・周辺地下水(2箇所)・処分場原水の放射能：1回/年
- (カ) 最終処分場(東側)(西側)土壌のダイオキシン類：1回/年
- (キ) 最終処分場 敷地境界の空間線量率：1回/年

(2) 職員研修等

職員の施設維持管理に関する実務知識の向上と技能取得のため、講習会等に参加した。

研修の種類	期間(日)	回数(回)	人数(人)	実施場所等
廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会(最終処分場関係)	1	1	1	岡山県倉敷市

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明				
4目 住宅団地汚水処理場費		決算額 16,855,014 円				
1 住宅団地汚水処理場管理運営事業						
(1) 汚水処理場使用料納付状況						
処理場名	年度	総件数 (件)	使用水量 (m <sup>3</sup> )	使用料金		収入率 (%)
				調定額 (円)	収入額 (円)	
伊太第一	23	664	28,028	3,834,830	3,827,470	99.81
	22	663	28,480	3,884,200	3,836,520	98.77
伊太第二	23	265	8,664	1,458,856	1,336,516	91.61
	22	242	8,579	1,526,540	1,327,734	86.98
月 坂	23	2,696	125,318	16,148,060	16,038,210	99.32
	22	2,679	127,993	16,300,950	16,165,040	99.17
合 計	23	3,625	162,010	21,441,746	21,202,196	98.88
	22	3,584	165,052	21,711,690	21,329,294	98.24
※調定額・収入額は、過年度分を含む。						
(2) 施設維持管理状況						
処理場名	事業の概要		事業費(円)	備 考		
伊太第一	維持管理業務委託 ・処理場の保守管理及び汚泥の調整・引抜 作業業務		1,470,000	(株)エスイーシーディング		
伊太第二	維持管理業務委託 ・処理場の保守管理及び汚泥の調整・引抜 作業業務		787,500	(株)エスイーシーディング		
月 坂	維持管理業務委託 ・処理場の保守管理及び汚泥の調整・引抜 作業業務		2,583,000	(株)富永事業		
	電気工作物保安管理業務委託 ・電気事業法による保安管理業務		156,240	(財)中部電気保安協会 藤枝営業所		
	遠心脱水機回転体点検委託 ・遠心脱水機のオーバーホール及び消耗部 品の交換一式		987,000	大和機工(株)		
(3) 処理水の水質						
水質汚濁防止法に定められた排水基準値内で処理している。						
計量対象及び 基準値 処理場名	PH	BOD	SS			
	5.8~8.6	30mg以下	70mg以下			
伊太第一	6.9	5.8	8.8			
伊太第二	7.2	6.3	11.6			
月 坂	6.6	1.5	5.0			
※ 値は年度平均数値						
5目 し尿処理費		決算額 194,939,839円				
1 クリーンセンター管理運営事業						
<p>クリーンセンターは、平成2年供用開始から21年目となり、施設及び機械の経年劣化がみられている。このため、定期的な保守点検のほか修繕工事等を実施した。</p> <p>し尿の1日当たりの投入量は、126.15kℓ/日、経費の節減と悪臭防止、排水基準の遵守に留意した運営に努め、1kℓ当たりの維持コストは、2,841円となっている。</p> <p>効率的な施設の維持管理に努めた結果、県内のし尿処理施設のなかでも低コストでし尿処理を行っている。</p>						

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(1) 工事請負費

事業名	事業の概要	事業費(円)	備 考
汚泥脱水機(C号機) 整備工事	フレーム及び不良部品の交換整備一式	6,930,000	日本インカ(株)
汚泥乾燥焼却設備補修工事	各装置の不良部品交換整備及び補修、ダスト清掃等一式	4,725,000	(株)大川原製作所
P S A設備点検整備工事	空気圧縮機、オゾン発生機、酸素製造装置の部品交換及び点検整備一式	8,400,000	昭和環境システム(株)
合 計	3 件	20,055,000	

(2) 委託料

業務名	業務の概要	委託費(円)	備 考
臭気用活性炭交換委託	吸着塔内の活性炭交換作業	2,677,500	大学産業(株)
破砕機設備点検業務委託	破砕機(3台)のオーバーホール及び部品交換一式	1,890,000	サンテック(株)
受入槽ほか清掃委託	受入槽を含む、9槽の清掃(年2回実施)	1,417,500	東海下水道整備(株)
ほか 14件	放流水分析委託ほか施設管理委託等	5,351,619	(株)静環検査センターほか
合 計	17件	11,336,619	

(3) し尿の投入状況

投入量の前年対比

年 度	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽汚泥(kℓ)
23	45,854.16	3,572.72	42,281.44
22	46,043.68	4,296.38	41,747.30
対 比	△189.52	△723.66	534.14

(4) 排出ガスの測定結果 実施日 7月27日 受託者 (株)静環検査センター

ア 排ガスの測定結果と基準値

測定項目	単位	調査結果	排出基準
ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.0094	10以下
ばいじん濃度	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.14	0.25以下
窒素酸化物濃度	ppm	140	250以下
硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	2.1	12.01以下
塩化水素濃度	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	96未満	700以下

イ 焼却灰・集塵灰のダイオキシン類測定結果と基準値

検 体 名	単位	調査結果	判定基準
焼 却 灰	ng-TEQ/g	0	3以下
集 塵 灰	ng-TEQ/g	0.0087	3以下

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(5) 放流水分析結果 受託者 (株) 静環検査センター

区分	透視度 cm	PH	COD mg/l	BOD mg/l	SS mg/l	大腸菌 群数 個/cm <sup>3</sup>	塩素 イオン mg/l
平均値	100以上	7.4	6.6	1.3	1未満	1	106
基準値		5.8~ 8.6		平均30以下 最大40以下	平均70以下 最大90以下	3,000個以下	
設定値		6~8	20 mg/l 以下	10mg/l 以下	10mg/l 以下	2,000個以下	

(6) 乾燥汚泥等の資源化の状況

年 度	最終処分場 搬入量(kg)	資 源 化		
		焼 却 灰 配布量(kg)	乾 燥 汚 泥 売 払 配布量(kg)	乾 燥 汚 泥 売 払 金 額 (円)
23	79,840	4,520	52,790	482,500
22	73,720	11,750	96,250	962,500
対 比	6,120	△7,230	△43,460	△480,000

- ・し尿汚泥肥料（登録名称：コエール） 100円/10kgにて販売
- ・焼成汚泥肥料（登録名称：サラール） 無料配布

2 川根地区広域施設組合運営費

一部事務組合として、島田市及び川根本町をもって組織し、し尿処理施設の設置及び管理運営に関する事務を共同で処理している。

川根地区広域施設組合「クリーンピュア川根」の運営費及び建設費償還金に係る負担金を支出した。

(1) 川根地区広域施設組合負担金

年 度	運営費負担金	建設費償還金負担金	合 計
23	28,686,000	35,133,739	63,819,739
22	29,790,000	35,133,739	64,923,739
対 比	△1,104,000	0	△1,104,000

(2) 投入量の前年対比

年 度	島 田 市			川 根 本 町		
	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽(kℓ)	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽(kℓ)
23	2,868.56	579.46	2,289.10	4,425.91	641.68	3,784.23
22	2,578.11	594.15	1,983.96	4,429.31	678.32	3,750.99
対比	290.45	△14.69	305.14	△3.4	△36.64	33.24
年 度	合 計					
	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽(kℓ)			
23	7,294.47	1,221.14	6,073.33			
22	7,007.42	1,272.47	5,734.95			
対比	287.05	△51.33	338.38			

6目 田代環境プラザ運営費 決算額 690,499,660円

1 ガス化溶融施設管理運営事業

(1) 施設（田代環境プラザ）視察、見学等の状況

公共団体や小学生、中学生及び各種団体等の視察や見学を受け入れ、ごみ減量の啓発やごみ処理についての理解協力を図った。なお、2月に災害廃棄物の試験焼却を実施したことにより、官公庁及び一般の視察、見学者が増加した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

区 分	構成市町		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
官 公 庁	2	20	10	162	12	182
一 般	11	219	8	37	19	256
学校関係	21	1,026	0	0	21	1,026
合 計	34	1,265	18	199	52	1,464
平成22年度	39	1,250	10	109	49	1,359

(2) 職員研修等

職員のごみ処理技術の向上及び作業の安全性の確保を図るため各種講習会等に参加した。また、同型のガス化溶融施設を有する自治体とのネットワーク会議に出席し、情報交換を行った。

研 修 の 種 類	期 間 (日)	回 数 (回)	人 数 (人)	実施場所等
廃棄物処理施設技術管理者資格試験講習会 (ごみ処理施設)	6	1	1	川崎市
電気主任技術者研修会	1	1	1	静岡市
ボイラー・タービン主任技術者実務研修会	1	1	1	名古屋市
DMS ネットワーク研修会	2	1	1	大分市
P C B 特別一般廃棄物管理責任者研修会	1	1	1	静岡市
フォークリフト運転技能講習	2	1	1	掛川市
クレーン技能講習 (特別講習)	2	1	2	掛川市

(3) ごみ搬入実績

島田市及び受託している川根本町の平成23年度における可燃性ごみの搬入実績は31,553トンとなり、平成22年度(30,586トン)より967トン(前年対比103.16%)増加している。内訳は、収集ごみが254トンの増(前年対比101.09%)、一般搬入ごみが105トンの増(前年対比101.68%)、掘起ごみが607トンの増(前年対比157.35%)、医療ごみが0.44トンの増(前年対比101.69%)となった。

災害等によるごみの搬入量については、風水害(平成23年9月21日台風15号)124件、29トン(平成22年度0件)、火災49件、38トン(前年対比94.61%)であった。なお、一般の官公庁の中に、2月15日～16日に搬入された岩手県山田町の木材チップ約10トンも含まれている。

ア ごみ搬入量

(単位：t)

種別	市町別	平成23年度	平成22年度	比較増減	前年対比 (%)	
収 集	島 田 市	22,078.77	21,861.66	217.11	100.99	
	川 根 本 町	1,408.84	1,372.21	36.63	102.67	
	計	23,487.61	23,233.87	253.74	101.09	
一 般	官 公 庁 (内、山田町分)	島 田 市	690.02	584.45	105.57	118.06
		(内、山田町分)	(10.28)	(0)	(10.28)	(-)
		川 根 本 町	1.67	1.27	0.40	131.50
	計	691.69	585.72	105.97	118.09	
	家 庭 系	島 田 市	754.91	636.91	118.00	118.53
		川 根 本 町	4.18	19.30	△15.12	21.66
計		759.09	656.21	102.88	115.68	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
-------	---------------	--	--	--	--

事業系	島 田 市	4,837.64	4,938.61	△100.97	97.96	
	川 根 本 町	85.43	88.02	△2.59	97.06	
	計	4,923.07	5,026.63	△103.56	97.94	
	計	島 田 市	6,282.57	6,159.97	122.60	101.99
		川 根 本 町	91.28	108.59	△17.31	84.06
		計	6,373.85	6,268.56	105.29	101.68
その他	掘起(み)	島 田 市	1,665.41	1,058.44	606.97	157.35
		川 根 本 町	-	-	-	-
		計	1,665.41	1,058.44	606.97	157.35
	医療(み)	島 田 市	26.42	25.98	0.44	101.69
		川 根 本 町	-	-	-	-
		計	26.42	25.98	0.44	101.69
島 田 市		30,053.17	29,106.05	947.12	103.25	
川 根 本 町		1,500.12	1,480.40	19.72	101.33	
合 計		31,553.29	30,586.45	966.84	103.16	

イ 災害等によるごみの搬入件数、搬入量

種 別	平成23年度		平成22年度		搬入量 前年対比 (%)
	件数 (件(戸))	搬入量 (t)	件数 (件(戸))	搬入量 (t)	
風水害	124 (84)	29.53	0(0)	0	-
火 災	49 ( 5)	38.44	38 (3)	40.63	94.61
計	173 (89)	67.97	38 (3)	40.63	167.29

(4) 施設の稼働状況

ごみ搬入量が平成22年度比3.16%増となり、ごみ処理量も増となった。可燃性ごみはガス化溶融炉で安全に安定した処理を行った。

無害化生成されるスラグやメタルは資源として売却し、また、集塵装置により捕集された飛灰は薬剤により有害物質を固定化して最終処分場に埋立て処理を実施した。

点検整備については、18年度の本格稼働から6年目となり、不良箇所は整備を行った。併せてボイラー2基の安全管理審査も実施した。

溶融施設全体として、24時間運転による金属疲労や耐火物等の磨耗が目立ち始めてきており、随所に部品交換や修繕が必要となった。

施設の管理運営については、平成22年度に引き続き、運転委託業者との運転会議を実施し、適切な施設管理に努めた。

ごみ処理で発生した熱は発電に利用して、発電した電力は場内で利用するほか、余剰電力は電力会社に売却した。年間発電電力量10,719,289 kwhは、年間定格発電電力量の約61.5%となった。

ア 運転実績

		平成23年度	平成22年度	比較増減	前年対比 (%)	
稼働状況 処理量	1号炉	運転日数 (日)	262	265	△3	98.87
		ごみ処理量 (t)	16,620.92	17,701.82	△1,080.90	93.89
		1日平均 (t)	63.44	66.80	△3.36	94.97

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

	2号炉	運転日数 (日)	263	235	28	111.91
		ごみ処理量 (t)	16,628.12	15,288.48	1,339.64	108.76
		1日平均 (t)	63.22	65.06	△1.84	97.17
	計	運転日数 (日)	340	320	20	106.25
		2炉運転日数 (日)	178	169	9	105.33
		ごみ処理量 (t) A	33,249.04	32,990.30	258.74	100.78
		1日平均 (t)	97.79	103.09	△5.30	94.86
スラグ	排出量 ① (t)	2,078.41	1,995.58	82.83	104.15	
	排出割合 (①/A) (%)	6.25	6.05	0.20	103.31	
メタル	排出量 ② (t)	366.57	346.16	20.41	105.90	
	排出割合 (②/A) (%)	1.10	1.05	0.05	104.76	
飛灰	排出量 ③ (t)	1,795.81	1,620.55	175.26	110.81	
	排出割合 (③/A) (%)	5.40	4.91	0.49	109.98	

イ 主要薬剤等の使用実績

			平成23年度	平成22年度
ごみ処理量 (t)			33,249.04	32,990.30
燃 料	コークス	Kg	1,518,503	1,522,868
		Kg/t	45.67	46.16
	灯油	リットル	143,232	175,393
		ℓ/t	4.31	5.32
薬 剤	石灰石	Kg	821,878	811,000
		Kg/t	24.72	24.58
	高反応消石灰	Kg	214,919	187,395
		Kg/t	6.46	5.68
	キレート剤	Kg	71,687	43,282
		Kg/t	2.16	1.31

※ kg/t : ごみ処理量1トン当たりの薬剤等の使用量

ウ 電力収支

項 目		電力量 (kwh)	構成比率 (%)
受電電力 ①		11,840,257	—
内 訳	中部電力株からの購入電力	1,120,968	9.47
	田代環境プラザの発電電力	10,719,289	90.53
使用電力 ②		10,243,753	—
内 訳	ガス化熔融施設使用電力	10,137,033	98.96
	リサイクル施設使用電力	106,720	1.04
余剰電力 (売電) ①-②		1,596,504	—

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(5) 主要委託業務の執行状況

事業名	事業の概要	事業費(円)	受託者
ガス化溶融炉運転管理業務	ガス化溶融施設の運転業務 (1年間 24時間体制)	182,700,000	日鉄環境プラントソリューションズ(株)
ガス化溶融施設点検整備業務	ガス化溶融施設の点検整備業務一式	185,950,800	日鉄環境プラントソリューションズ(株)
分析業務	排ガス、飛灰、スラグ、騒音振動、臭気、放射能等の分析・測定業務	6,357,750	(株)静環検査センター
清掃業務委託	管理棟の日常清掃及び定期清掃	2,362,500	(株)セリオ
冷暖房設備保守点検業務	施設の冷暖房設備保守点検	1,029,000	(株)ザ・トーカイ焼津支店
消防設備保守点検業務	施設の消防設備保守点検業務	945,000	島田防災設備(株)
電気設備保守点検業務	施設の電気設備保守点検業務	661,500	(財)中部電気保安協会
エレベータ保守点検業務	施設のエレベータ保守点検業務	567,000	東芝エレベータ(株)静岡支店
浄化槽保守点検	施設の浄化槽保守点検	544,530	(株)エスイーシーディング
溶融スラグ追跡調査業務	溶融スラグ利用先の溶融スラグ経年変化を確認するための分析	257,250	(株)静環検査センター

(6) 維持管理に係る各種分析結果

ガス化溶融炉の運転については、大気汚染防止法やダイオキシン類対策特別措置法等の基準値及び地元協定値を遵守している。

ア 排ガス

測定日	4月28日	6月24日	8月8日	10月11日	12月16日	2月23日	基準値 (地元協定値)
測定炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	
ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.02以下
硫黄酸化物 (ppm)	2未満	2未満	3	2未満	2未満	2未満	20以下
窒素酸化物 (ppm)	24	35	15	14	20	8	50以下
塩化水素量 (ppm)	15未満	14未満	15未満	15未満	14	24	40以下
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	—	0.0021	0.00038	—	0.00019	0.00019	0.05以下

イ 溶融飛灰(無害化処理灰)の溶出試験

試料採取月日	4月20日	5月27日	6月22日	7月5日	基準値 (法基準値)
カルシウム又はその化合物(mg/l)	/	0.01未満	/	/	0.3以下
鉛又はその化合物(mg/l)	0.03	0.05	0.02	0.01	0.3以下
セレン又はその化合物(mg/l)	/	0.01未満	/	/	0.3以下
六価クロム化合物(mg/l)	/	0.04未満	/	/	1.5以下
砒素又はその化合物(mg/l)	/	0.01未満	/	/	0.3以下
水銀又はその化合物(mg/l)	/	0.0005未満	/	/	0.005以下
フッ素(mg/l)	/	4.0	/	/	—
ホウ素(mg/l)	/	0.1未満	/	/	—

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

試料採取月日	8月2日	9月6日	10月4日	11月1日	基準値 (法基準値)
カドミウム又はその化合物(mg/l)	0.01未満			0.01未満	0.3以下
鉛又はその化合物 (mg/l)	0.01未満	0.05	0.04	0.01未満	0.3以下
セレン又はその化合物(mg/l)	0.01未満			0.03	0.3以下
六価クロム化合物 (mg/l)	0.04未満			0.04未満	1.5以下
砒素又はその化合物 (mg/l)	0.01未満			0.01未満	0.3以下
水銀又はその化合物 (mg/l)	0.0005未満			0.0005未満	0.005以下
フッ素 (mg/l)	1.6			1.3	—
ホウ素 (mg/l)	0.1未満			0.1未満	—

試料採取月日	12月5日	1月18日	2月6日	3月14日	基準値 (法基準値)
カドミウム又はその化合物(mg/l)			0.01未満		0.3以下
鉛又はその化合物 (mg/l)	0.10	0.01未満	0.01未満	0.03	0.3以下
セレン又はその化合物(mg/l)			0.01未満		0.3以下
六価クロム化合物 (mg/l)			0.04未満		1.5以下
砒素又はその化合物 (mg/l)			0.01未満		0.3以下
水銀又はその化合物 (mg/l)			0.0005未満		0.005以下
フッ素 (mg/l)			0.51		—
ホウ素 (mg/l)			0.1未満		—

ウ 溶融飛灰（無害化処理灰）のダイオキシン類濃度

	測定炉	測定日	ダイオキシン類濃度	法基準値
飛 灰	共通	5月27日	0.27 ng-TEQ/g	3 ng-TEQ/g

エ 騒音測定

項目	単位	測定日		基準値 (法基準値・地元協定値)
		8月30日	2月21日	
朝（6時～8時）	dB(A)	47	44	50
昼間（8時～18時）	dB(A)	47	45	55
夕（18時～22時）	dB(A)	49	44	50
夜間（22時～6時）	dB(A)	44	43	45

オ 振動測定

項目	単位	測定日		基準値 (法基準値・地元協定値)
		8月30日	2月21日	
昼間（8時～20時）	dB	30未満	30未満	65
夜間（20時～8時）	dB	30未満	30未満	55

カ 臭気測定

測定日	8月30日	2月21日	基準値	
			法基準値	地元協定値
天候・風向風速	晴れ・北北東・1.0m/s	晴れ・南・1.0m/s		
アンモニア (ppm)	0.1未満	0.1未満	2以下	1以下
硫化水素 (ppm)	0.002未満	0.002未満	0.02以下	0.01以下
メチルメルカプタン (ppm)	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下	0.001以下
硫化メチル (ppm)	0.001未満	0.001未満	0.01以下	0.005以下
臭気指数	10未満	10未満	15以下	—

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

キ ごみ質分析結果

採取日	生ごみの三成分			低 位 発熱量 kJ/kg	乾 燥 ご み 中 の 組 成 割 合					
	水 分 %	可 燃 分 %	灰 分 %		紙・布類 %	ビニール類 %	木・竹・ワ類 %	厨芥類 %	不燃物類 %	その他 %
5/17	48.8	39.5	11.7	6,870	29.2	30.8	11.0	14.6	7.5	6.5
8/2	53.1	42.1	4.8	6,970	33.1	26.2	35.7	2.4	0.1未満	2.6
11/1	58.1	37.0	4.9	6,180	49.1	22.2	13.3	13.5	0.7	1.3
1/10	57.4	34.2	8.4	6,040	34.1	21.9	3.9	35.8	1.1	3.2

ク スラグの溶出試験・含有試験

溶融スラグの溶出試験及び含有試験をそれぞれ毎月1回行っている。どちらも毎回、国基準値及び溶融スラグ有効利用ガイドライン基準値をクリアしている。

(7) 溶出試験

	カドミウム又は その化合物 (mg/l)	鉛又は その化合物 (mg/l)	セレン又は その化合物 (mg/l)	六価クロム 化合物 (mg/l)	砒素又は その化合物 (mg/l)	水銀又は その化合物 (mg/l)	フッ素 (mg/l)	ホウ素 (mg/l)
国基準値・ ガイドライン	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.8以下	1以下
測定値	0.001未満	0.005未満	0.002未満	0.02未満	0.005未満	0.0005未満	0.08未満 ~0.25	0.1未満

(i) 含有試験

	カドミウム又は その化合物 (mg/kg)	鉛又は その化合物 (mg/kg)	セレン又は その化合物 (mg/kg)	六価クロム 化合物 (mg/kg)	砒素又は その化合物 (mg/kg)	水銀又は その化合物 (mg/kg)	フッ素 (mg/kg)	ホウ素 (mg/kg)
法基準値・ ガイドライン	150以下	150以下	150以下	250以下	150以下	15以下	4,000以下	4,000以下
測定値	10未満	15未満	10未満	10未満	10未満	1未満	400未満 ~760	400未満

2 リサイクル施設運営事業

(1) 剪定枝

ア 受入・処理状況

年 度	家庭系		事業系		官公庁		合計	
	件数(件)	量(t)	件数(件)	量(t)	件数(件)	量(t)	件数(件)	量(t)
23	202	23.17	267	42.90	75	10.87	544	77.03
22	131	12.98	208	40.99	56	11.25	395	65.22

イ 資源化・売払状況 (単位：t)

年 度	資源化	売払
23	52.89	51.31
22	62.92	60.02

(2) 食品残渣

ア 受入・処理状況

年 度	食品残渣受入量			食品残渣の割合 (%)			
	受 入 事業所数	延べ 受入件数	受入量 (t)	野菜・ 果物くず	残飯類	期限切れ 食 品	合 計
23	9	1,401	164.6	60.38	14.78	24.85	100.0
22	8	1,243	153.9	68.96	5.94	25.10	100.0

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

イ 資源化・売払状況 (単位：t)

年 度	資源化	売払
23	19.40	19.12
22	22.89	20.13

3 使用済乾電池・蛍光灯資源化事業

区 分		乾電池		蛍光灯	
ル ー ト		独自ルート		全国都市清掃会議ルート	
処理委託契約先	処理	東邦亜鉛株 (群馬県安中市)		処理	野村興産株 (北海道北見市)
	運搬	安中運輸株 (群馬県安中市)		運搬	日本通運株 日本貨物鉄道株
				事務	(社)全国都市清掃会議
処理実績 (出荷量)	平成23年度	39,713kg		15,600kg	
	平成22年度	39,370kg		16,160kg	

4 東日本大震災現地支援事業【平成23年度新規事業】

- (1) 東日本大震災復興支援の受入体制を整えるために、現状把握として災害廃棄物を含まない通常ごみ、溶融飛灰等の放射能濃度の測定を実施、また、災害廃棄物15%を含む試験溶融に伴い、災害廃棄物等の放射能濃度他の測定を実施し、市民の不安に対して、健康に影響するような放射能濃度、溶出量、空間線量率、排ガスの数値でないことを確認した。

ア 放射能濃度 (単位：回)

試 料 名	回 数	備 考
通常ごみ	5	費用負担：国2回含む
災害廃棄物混焼ごみ	1	費用負担：国
災害廃棄物	5	費用負担：国
溶融飛灰（無害化处理灰）	6	費用負担：国1回、静岡県1回含む
スラグ	5	費用負担：国1回、静岡県1回含む
メタル	5	費用負担：国1回、静岡県1回含む
1号炉排ガス集塵器入口	2	費用負担：国
1号炉排ガス煙突	2	費用負担：国1回、静岡県1回
2号炉排ガス集塵器入口	2	費用負担：国1回含む
2号炉排ガス煙突	2	費用負担：静岡県1回含む
溶融飛灰（原灰）	4	費用負担：国1回、静岡県1回含む
リターン灰	4	費用負担：国2回含む
水砕ピット水	4	費用負担：国2回含む
土壌5箇所	1	費用負担：島田市

イ 溶出量 (単位：回)

試 料 名	回 数	備 考
溶融飛灰（無害化处理灰）	3	費用負担：国1回含む
スラグ	3	費用負担：国1回含む
メタル	3	費用負担：国1回含む
溶融飛灰（原灰）	2	費用負担：国1回含む
リターン灰	2	費用負担：国1回含む

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ウ 空間線量率 (単位：回)

測 定 場 所	回 数	備 考
災害廃棄物搬入コンテナ	5	費用負担：国
施設内	6	費用負担：国3回含む
敷地境界	6	費用負担：国3回含む
その他施設内	6	費用負担：国3回含む
伊太小学校、大津小学校	4	費用負担：島田市
敷地外	2	費用負担：島田市
バックグラウンド候補地	5	費用負担：島田市

エ 排ガス（一般項目、ダイオキシン類） (単位：回)

測 定 場 所	回 数	備 考
1号炉排ガス煙突	1	費用負担：国
2号炉排ガス煙突	1	費用負担：国

オ 塩分 (単位：回)

試 料 名	回 数	備 考
通常ごみ	1	費用負担：島田市
災害廃棄物	1	費用負担：島田市

(2) 東日本大震災の災害廃棄物試験溶融に伴い、2号溶融炉内部の公開及び搬入コンテナ5基の空間線量率測定を市民、報道関係者も含め公開し、安全性の理解と受入の判断材料としてアピールできた。また、全国に対しても復興支援への気運を高めることができた。

ア 2号溶融炉見学者数

月 日	見学時間	一 般	報 道 機 関	自治会 長連合 会役員	島田市議 会議員	島田市 職 員	合 計
2月8日	13:15 ～16:00	2	24	0	1	6	33

イ 搬入コンテナ空間線量率測定見学者数

月 日	見学時間	一 般	報 道 機 関	自治会 長連合 会役員	島田市議 会議員	他 市 職 員	合 計
2月15日	① 8:50 ～9:50	5	/	0	0	0	5
	② 12:30 ～13:30	7	/	0	0	0	7
	③ 16:10 ～17:10	4	/	0	0	0	4
	④ 19:50 ～20:50	6	/	0	0	0	6
	小 計	22	35	0	0	0	57
2月16日	⑤ 7:05 ～8:45	29	54	7	5	38	133
	小 計	29	54	7	5	38	133
合 計		51	89	7	5	38	190

※2月16日の報道機関及び他市職員については、静岡県が募集。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ウ 東日本大震災の災害廃棄物や試験溶融に伴い発生した処理灰等を、2月20日から3月14日まで島田市役所玄関他7箇所で公開し、安全性の理解と受入の判断材料とした。

(単位：人)

公開場所	来場者数
島田市役所	741
田代環境プラザ	40
初倉公民館(くらら)	203
六合公民館(ロクティー)	260
金谷北支所	84
金谷南支所	65
川根支所	15
合 計	1,408

エ 東日本大震災の災害廃棄物処理に関する問い合わせ、意見に対応した。

田代環境プラザ受付分 (単位：件)

平成23年12月14日～平成24年3月31日	件数
電 話	948
F A X	49
メール	269
合 計	1,266